

令和6年度

西宮市水道事業会計予算
西宮市工業用水道事業会計予算
西宮市下水道事業会計予算

西宮市

令 和 6 年 度

西宮市水道事業会計予算

令和6年度西宮市水道事業会計予算

(総 則)

第1条 令和6年度西宮市水道事業会計の予算は、次に定めるところによる。

(業務の予定量)

第2条 業務の予定量は、次のとおりとする。

(1) 給 水 戸 数	240,457 戸
(2) 年 間 総 配 水 量	52,229,700 m ³
(3) 一 日 平 均 配 水 量	143,095 m ³
(4) 主要な建設改良事業	3,206,679 千円
┌ 浄水施設整備事業	102,361 千円
├ 配水設備整備事業	1,248,152 千円
└ 配水管整備事業	1,856,166 千円

(収益的収入及び支出)

第3条 収益的収入及び支出の予定額は、次のとおりと定める。

収 入

第1款 水道事業収益	11,001,610 千円
第1項 営業収益	9,842,395 千円
第2項 営業外収益	1,092,286 千円
第3項 特別利益	66,929 千円

支 出

第1款 水道事業費用	10,580,080 千円
第1項 営業費用	10,138,877 千円
第2項 営業外費用	437,203 千円
第3項 特別損失	2,000 千円
第4項 予備費	2,000 千円

(資本的収入及び支出)

第4条 資本的収入及び支出の予定額は、次のとおりと定める(資本的収入額が資本的支出額に対し不足する額 2,733,280 千円は、当年度消費税及び地方消費税資本的収支調整額 299,925 千円、損益勘定留保資金 1,696,678 千円及び建設改良積立金 736,677 千円で補てんするものとする。)

収 入

第1款 資 本 的 収 入	1,997,620 千円
第1項 企 業 債	1,930,300 千円
第2項 他 会 計 負 担 金	23,615 千円
第3項 他 会 計 補 助 金	21,455 千円
第4項 工 事 負 担 金	22,000 千円
第5項 固 定 資 産 売 却 代 金	100 千円
第6項 長 期 貸 付 金 返 還 金	150 千円

支 出

第1款 資 本 的 支 出	4,730,900 千円
第1項 建 設 改 良 費	3,699,340 千円
第2項 企 業 債 償 還 金	928,660 千円
第3項 投 資	100,900 千円
第4項 予 備 費	2,000 千円

(継続費)

第5条 継続費の総額及び年割額は、次のとおりと定める。

款	項	事業名	総額	年度	年割額
1. 資本的 支出	1. 建設改 良費	送配水管 布設替工事	8,191,360 千円	令和6年度	1,625,900 千円
				令和7年度	1,620,400 千円
				令和8年度	1,669,260 千円
				令和9年度	1,620,400 千円
				令和10年度	1,655,400 千円

1. 資本的 支出	1. 建設改 良費	丸山浄水場 送配水管更 新及び中区 配水池耐震 補強事業	1,554,677 千円	令和 6 年度	233,566 千円
				令和 7 年度	681,824 千円
				令和 8 年度	236,062 千円
				令和 9 年度	194,551 千円
				令和 10 年度	194,551 千円
				令和 11 年度	14,123 千円

(債務負担行為)

第 6 条 債務負担行為をすることができる事項、期間及び限度額は、次のとおりと定める。

事 項	期 間	限度額
100 周年記念誌制作業務	令和 7 年度	10,457 千円
公用車購入事業	令和 7 年度	22,000 千円
検針ハンディターミナル機器賃借	令和 7 年度から 令和 11 年度まで	23,140 千円
西宮市水道事業検針・収納等業務	令和 7 年度から 令和 11 年度まで	2,562,992 千円
西宮浜配水所受変電設備ほか更新工事	令和 7 年度	198,000 千円
越木岩配水槽受変電設備ほか更新工事	令和 7 年度	148,500 千円
北山配水所ほか電気機械設備改良工事	令和 7 年度	79,200 千円
中野中継場移転更新築造工事	令和 7 年度	101,200 千円
中野中継場移転更新設備工事	令和 7 年度	229,680 千円
東山台配水所受変電設備ほか更新工事	令和 7 年度	253,935 千円
越水浄水場ほか包括委託業務	令和 7 年度から 令和 11 年度まで	5,074,895 千円

(企 業 債)

第 7 条 起債の目的、限度額、起債の方法、利率及び償還の方法は、次のとおりと定める。

起債の目的及び限度額

浄配水施設整備事業

1,930,300 千円

起債の方法 政府資金、地方公共団体金融機構、その他から普通貸借または証券発行による。ただし、企業財政の都合により、翌年度以降に繰延べ起債することができる。

利 率 4.0%以内

償還の方法 借入の日の翌日から30年以内（5年以内の据置を含む。）に毎半年賦の元利均等又は元金均等償還。ただし、借入先の融通条件に変更があるときはその条件に従う。

（一時借入金）

第8条 一時借入金の限度額は、1,000,000千円と定める。

（予定支出の各項の経費の金額の流用）

第9条 予定支出の各項の経費の金額を流用することができる場合は、次のとおりと定める。

（1）営業費用、営業外費用及び特別損失間の流用

（議会の議決を経なければ流用することのできない経費）

第10条 次に掲げる経費については、これらの経費の金額を、これら以外の経費の金額に流用し、又はこれら以外の経費をこれらの経費の金額に流用する場合は、議会の議決を経なければならない。

（1）職 員 給 与 費 1,627,836 千円

（2）交 際 費 350 千円

（他会計からの補助金）

第11条 収益的支出及び資本的支出に充てるため一般会計からこの会計へ補助を受ける金額は、117,596千円である。

（たな卸資産購入限度額）

第12条 たな卸資産の購入限度額は、200,000千円と定める。

令和6年2月21日 提出

西宮市長 石 井 登志郎

西宮市水道事業会計予算に関する説明書

目 次

	ページ
令和6年度西宮市水道事業会計予算実施計画……………	9
令和6年度西宮市水道事業予定キャッシュ・フロー計算書……………	13
給与費明細書……………	14
継続費に関する調書……………	24
債務負担行為に関する調書……………	26
令和6年度西宮市水道事業予定貸借対照表……………	28
令和6年度西宮市水道事業会計予算注記……………	30
令和5年度西宮市水道事業予定損益計算書……………	32
令和5年度西宮市水道事業予定貸借対照表……………	34
令和5年度西宮市水道事業会計予算注記……………	36

令和6年度西宮市水道事業会計予算実施計画

収益的収入及び支出

収 入

款	項	目	予 定 額 (千円)	備 考
1. 水道事業 収 益			11,001,610	
	1. 営業収益		9,842,395	
		1. 給水収益	9,349,410	水道料金収入
		2. 受託工事 収 益	20,823	漏水修繕及び団地給水管等の 工事受託による収入
		3. その他の 営業収益	472,162	諸手数料、重度心身障害者世帯等の料金減免措置に対する 一般会計補助金及びその他雑収入
	2. 営業外収益		1,092,286	
		1. 受取利息	1,464	預金利息、有価証券利息
		2. 分担金	264,761	給水装置の新設、改造(増径) に伴う分担金収入
		3. 他会計 補助金	8,129	緊急貯水槽関連及び児童手当 に対する一般会計補助金
		4. 長期前受 金 戻 入	735,178	償却資産の減価償却・除却に 伴う長期前受金の戻入益
		5. 雑 収 益	82,754	不用品売却及びその他雑収入
	3. 特別利益		66,929	
		1. 固定資産 売 却 益	1	資産売却益
		2. 過年度損 益 修 正 益	500	前年度以前の損益修正による 利益発生額
		3. その他の 特別利益	66,428	阪神水道企業団からの返還金

支 出

款	項	目	予 定 額 (千円)	備 考	
1. 水道事業費			10,580,080		
	1. 営業費用		10,138,877		
		1. 原水及び浄水費	751,736	原水の取入、ろ過、滅菌に係る設備の維持管理に要する費用	
		2. 受水費	3,865,328	阪神水道企業団等への受水料	
		3. 配水費	1,126,185	浄水の配水に係る設備の維持管理に要する費用	
		4. 給水費	677,506	給水装置に付属するメーターその他の設備の維持管理に要する費用	
		5. 受託工事費	20,063	漏水修繕及び団地給水管等の受託工事に要する費用	
		6. 業務費	608,078	料金の徴収、検針その他業務に要する費用	
		7. 総係費	489,154	事業活動の全般に関連する費用	
		8. 減価償却費	2,479,259	有形及び無形固定資産の減価償却費	
		9. 資産減耗費	120,746	有形固定資産の除却損及びたな卸資産の減耗費	
		10. その他営業費用	822	材料売却原価	
		2. 営業外費用		437,203	
			1. 支払利息及び企業債取扱諸費	257,203	企業債利息
			2. 消費税及び地方消費税	180,000	納税予定額
		3. 特別損失		2,000	
			1. 過年度損益修正損	2,000	前年度以前の損益修正による損失発生額
		4. 予備費		2,000	
			1. 予備費	2,000	

資 本 的 収 入 及 び 支 出

収 入

款	項	目	予 定 額 (千円)	備 考
1. 資 本 的 収 入			1,997,620	
	1. 企 業 債		1,930,300	
		1. 企 業 債	1,930,300	浄配水施設整備事業に充当する企業債
	2. 他 会 計 負 担 金		23,615	
		1. 他 会 計 負 担 金	23,615	消火栓新設、移設費等に対する一般会計負担金
	3. 他 会 計 補 助 金		21,455	
		1. 他 会 計 補 助 金	21,455	緊急貯水槽関連及び児童手当に対する一般会計補助金
	4. 工 事 負 担 金		22,000	
		1. 工 事 負 担 金	22,000	水道管布設工事等負担金
	5. 固 定 資 産 売 却 代 金		100	
		1. 固 定 資 産 売 却 代 金	100	資産売却代金
	6. 長 期 貸 付 金 返 還 金		150	
1. 長 期 貸 付 金 返 還 金		150	給水装置改造工事貸付金返還金	

支 出

款	項	目	予 定 額 (千円)	備 考
1. 資 本 的 支 出			4,730,900	
	1. 建設改良費		3,699,340	
		1. 固 定 資 産 購 入 費	116,856	固定資産の取得に要する費用
		2. 原 水 及 び 浄水施設費	110,356	取水、導水及び浄水設備の整備に要する費用
		3. 配水施設費	3,456,114	配水設備及び配水管の整備に要する費用
		4. リース債務 支 払 額	16,014	当年度支払額
	2. 企 業 債 還 債 金		928,660	
		1. 企 業 債 還 債 金	928,660	元金償還
	3. 投 資		100,900	
		1. 長期貸付金	900	給水装置改造工事貸付金
		2. 投 資 有 価 証 券	100,000	投資有価証券
	4. 予 備 費		2,000	
		1. 予 備 費	2,000	

令和6年度西宮市水道事業予定キャッシュ・フロー計算書

(令和6年4月1日から令和7年3月31日まで)

(単位：千円)

I 営業活動によるキャッシュ・フロー		
1 当期純利益		249,571
2 有形固定資産及び 無形固定資産の減価償却費		2,479,259
3 有形固定資産除却費等		120,346
4 減損損失		0
5 長期前受金戻入		△ 735,178
6 引当金の増加・減少 (△)		△ 144,994
7 受取利息収入		△ 1,464
8 支払利息及び企業債取扱諸費		257,203
9 企業債利息にかかる補助金収入		△ 1,162
10 営業及び営業外未収金の増加 (△)・減少		16,415
11 たな卸資産の増加 (△)・減少		15,028
12 前払費用の増加 (△)・減少		0
13 営業及び営業外未払金等の増加・減少 (△)		35,308
14 その他流動負債の増加・減少 (△)		26,000
15 固定資産の売却益		△ 1
営業活動によるキャッシュ・フロー		2,316,331
II 投資活動によるキャッシュ・フロー		
1 固定資産取得・建設改良事業等実施額		△ 3,398,191
2 上記1の実施に係る補助金、負担金等収入		55,672
3 固定資産の売却収入		101
4 受取利息収入		1,464
5 投資の増加 (△)・減少		△ 1,266
6 有価証券の増加 (△)・減少		△ 100,000
7 貸付金支出		0
8 貸付金返還収入		0
9 投資活動に伴う前払金等の債権の増加 (△)・減少		8,210
10 投資活動に伴う未払金等の債務の増加・減少 (△)		△ 117,883
投資活動によるキャッシュ・フロー		△ 3,551,893
III 財務活動によるキャッシュ・フロー		
1 企業債の発行		1,930,300
2 企業債の償還		△ 928,660
3 企業債の償還にかかる補助金収入		9,398
4 支払利息及び企業債取扱諸費		△ 257,203
5 企業債利息にかかる補助金収入		1,162
財務活動によるキャッシュ・フロー		754,997
IV 現金及び現金同等物の増加額		△ 480,565
V 現金及び現金同等物の期首残高		5,366,595
VI 現金及び現金同等物の期末残高		4,886,030

注 現金同等物のうち定期預金は、3か月以内のものである。

1. 総 括

区 分	職 員 数 (人)		給	
	特 別 職	一 般 職	報 酬	給 料
本 年 度	1	174 (0)	18,577	665,771
前 年 度	1	179 (0)	23,517	696,024
比 較	0	△ 5 (0)	△ 4,940	△ 30,253

()内は、再任用短時間勤務職員について外書き。

手 当 等 の 内 訳	区 分	地域手当	扶養手当	住居手当	管理職手当	時間外勤務 手 当
	本 年 度	106,167	15,384	21,060	52,334	60,155
	前 年 度	110,781	15,714	19,968	53,478	60,605
	比 較	△ 4,614	△ 330	1,092	△ 1,144	△ 450

ア. 会計年度任用職員以外の職員

区 分	職 員 数 (人)		給	
	特 別 職	一 般 職	報 酬	給 料
本 年 度	1	166 (0)	0	665,771
前 年 度	1	170 (0)	0	696,024
比 較	0	△ 4 (0)	0	△ 30,253

()内は、再任用短時間勤務職員について外書き。

手 当 等 の 内 訳	区 分	地域手当	扶養手当	住居手当	管理職手当	時間外勤務 手 当
	本 年 度	106,167	15,384	21,060	52,334	60,155
	前 年 度	110,781	15,714	19,968	53,478	60,605
	比 較	△ 4,614	△ 330	1,092	△ 1,144	△ 450

イ. 会計年度任用職員

区 分	職 員 数 (人)		給	
	特 別 職	一 般 職	報 酬	給 料
本 年 度	0	8	18,577	0
前 年 度	0	9	23,517	0
比 較	0	△ 1	△ 4,940	0

手当等は期末手当。

明 細 書

(単位：千円)

与		費		法定福利費	合計
手当等		計			
	673,606		1,357,954	269,882	1,627,836
	700,209		1,419,750	275,608	1,695,358
△	26,603	△	61,796	△ 5,726	△ 67,522

(単位：千円)

特殊勤務手当	通勤手当	管理職員特別勤務手当	期末勤勉手当	児童手当	退職給付費
6,957	16,290	330	301,233	9,735	83,961
7,007	15,307	330	313,266	9,035	94,718
△ 50	983	0	△ 12,033	700	△ 10,757

(単位：千円)

与		費		法定福利費	合計
手当等		計			
	667,623		1,333,394	265,466	1,598,860
	693,073		1,389,097	270,398	1,659,495
△	25,450	△	55,703	△ 4,932	△ 60,635

(単位：千円)

特殊勤務手当	通勤手当	管理職員特別勤務手当	期末勤勉手当	児童手当	退職給付費
6,957	16,290	330	295,250	9,735	83,961
7,007	15,307	330	306,130	9,035	94,718
△ 50	983	0	△ 10,880	700	△ 10,757

(単位：千円)

与		費		法定福利費	合計
手当等		計			
	5,983		24,560	4,416	28,976
	7,136		30,653	5,210	35,863
△	1,153	△	6,093	△ 794	△ 6,887

2. 給料及び手当等の増減額の明細

区 分	増減額 (千円)	増 減 事 由 別 内 訳 (千円)	
給 料	△ 30,253	給与改定に伴う増減分	
		昇給に伴う増加分	4,542
		その他の増減分	△ 34,795
手 当 等	△ 26,603	制度改正等に伴う増減分	
		その他の増減分	△ 26,603

説 明	備 考
職員の異動等による減	
地 域 手 当 △ 4,614千円 扶 養 手 当 △ 330千円 住 居 手 当 1,092千円 管 理 職 手 当 △ 1,144千円 時 間 外 勤 務 手 当 △ 450千円 特 殊 勤 務 手 当 △ 50千円 通 勤 手 当 983千円 期 末 勤 勉 手 当 △ 12,033千円 児 童 手 当 700千円 退 職 給 付 費 △ 10,757千円 (引当金繰入額)	(参考) 当年度期末勤勉手当支払額 301,233千円 (参考) 当年度退職手当支払額(引当金取崩) 230,618千円

3. 給料及び手当の状況

(1) 職員1人当たり給与

区 分		全 職 員
令和6年1月1日現在	平均給料月額 (円)	335,147
	平均給与月額 (円)	429,763
	平均年齢 (歳)	47.04
令和5年1月1日現在	平均給料月額 (円)	338,604
	平均給与月額 (円)	434,070
	平均年齢 (歳)	47.00

(2) 初任給

区 分		事 務 職 (円)
令和6年1月1日現在	高 校 卒	165,800
	大 学 卒	190,600

一般会計の制度

区 分		一 般 行 政 職 (円)
令和6年1月1日現在	高 校 卒	165,800
	大 学 卒	190,600

事務職	技術職	技能労務職
344,390	318,868	345,149
451,221	417,065	413,086
49.10	40.08	53.07
344,892	317,239	361,660
453,196	415,162	432,775
48.09	40.08	53.11

(再任用短時間勤務職員を除く。給与には時間外勤務手当及び特殊勤務手当を含まない。)

技術職 (円)	技能労務職 (円)
165,800	161,800
190,600	—

技能労務職 (円)
161,800
—

(3) 級別職員数

区 分	全 職 員			事 務	
	級	職員数 (人)	構成比 (%)	級	職員数 (人)
令和6年1月1日現在	7 級	1	0.6	7 級	1
	6 級	3	1.8	6 級	1
	5 級	14	8.3	5 級	7
	4 級	84	50.0	4 級	32
	3 級	39 (0)	23.2	3 級	20 (0)
	2 級	17	10.1	2 級	4
	1 級	10	6.0	1 級	2
	計	168 (0)	100.0	計	67 (0)
令和5年1月1日現在	8 級	1	0.6	8 級	1
	7 級	3	1.8	7 級	1
	6 級	14	8.4	6 級	7
	5 級	49	29.6	5 級	30
	4 級	48	28.9	4 級	9
	3 級	26 (4)	15.7 (100.0)	3 級	9 (2)
	2 級	17	10.2	2 級	4
	1 級	8	4.8	1 級	3
	計	166 (4)	100.0 (100.0)	計	64 (2)

()内は、再任用短時間勤務職員について外書き。

(級別の基準となる職務)

区 分	7 級	6 級	5 級	4 級
企 業 職	次 長	部 長	課 長	係 長 水道主査

R5. 4. 1付給料表の切替に伴い、企業一般職給料表における級構成を8級制から7級制に変更。

職	技 術 職			技 能 勞 務 職		
	級	職員数 (人)	構成比 (%)	級	職員数 (人)	構成比 (%)
構成比 (%)						
1.5	7 級	0	0.0			
1.5	6 級	2	3.2			
10.4	5 級	7	11.3			
47.8	4 級	18	29.0	4 級	34	87.2
29.8	3 級	17 (0)	27.4	3 級	2 (0)	5.1
6.0	2 級	12	19.4	2 級	1	2.6
3.0	1 級	6	9.7	1 級	2	5.1
100.0	計	62 (0)	100.0	計	39 (0)	100.0
1.6	8 級	0	0.0			
1.6	7 級	2	3.2			
10.9	6 級	7	11.3			
46.9	5 級	19	30.6			
14.0	4 級	2	3.2	4 級	37	92.5
14.0 (100.0)	3 級	15 (1)	24.2 (100.0)	3 級	2 (1)	5.0 (100.0)
6.3	2 級	12	19.4	2 級	1	2.5
4.7	1 級	5	8.1	1 級	0	0.0
100.0 (100.0)	計	62 (1)	100.0 (100.0)	計	40 (1)	100.0 (100.0)

3 級	2 級	1 級
主 査 水道主任	副 主 査 水道業務員	主 事 技 師 水道業務員

(4) 特殊勤務手当

区 分	全 職 種	事 務 職	技 術 職	技能労務職
給料総額に対する比率 (%)	0.87	0.29	0.73	2.03
支給対象職員の比率 (%) (令和6年1月1日現在)	60.1	29.9	79.0	82.1
支給対象職員1人当たり 平均支給月額 (円)	4,796	3,279	2,858	8,711
代表的な特殊勤務手当の 名 称	夜間特別勤務手当 特殊業務従事手当			

(5) 期末勤勉手当

区 分	支 給 期 別 支 給 率		支給率計 (月分)	職制上の段 階、職務の 級等による 加算措置	備 考
	6月 (月分)	12月 (月分)			
本 年 度	2.2 (1.15)	2.2 (1.15)	4.4 (2.3)	有	加算割合5%~20%
前 年 度	2.2 (1.15)	2.2 (1.15)	4.4 (2.3)	有	加算割合5%~20%
一般会計の制度	2.2 (1.15)	2.2 (1.15)	4.4 (2.3)	有	加算割合5%~20%

()内は、再任用職員の支給率。

(6) 定年退職及び定年前早期退職に係る退職手当

区 分	支 給 率 等	一 般 会 計 の 制 度 (支給率等)
20年勤続の者 (月分)	24.586875	24.586875
25年勤続の者 (月分)	33.27075	33.27075
35年勤続の者 (月分)	47.709	47.709
最 高 限 度 (月分)	47.709	47.709
そ の 他 の 加 算 措 置 等	定年前早期退職 特例措置	定年前早期退職 特例措置
備 考	算定基礎（退職時の給料 月額）を3%～45%加算	算定基礎（退職時の給料 月額）を3%～45%加算

(7) その他の手当

区 分	一般会計の制度との異同	差 異 の 内 容
扶 養 手 当	同	—
地 域 手 当	同	—
住 居 手 当	同	—
通 勤 手 当	同	—

継 続 費 に

款	項	事業名	全体計画				
			年度	年割額 千円	左の財源内訳		
					企業債 千円	工事負担金 千円	その他 千円
1. 資本的 支出	1. 建設改 良費	送配水管 布設替工事	令和 6年度	1,625,900	984,000	22,000	619,900
			令和 7年度	1,620,400	984,000	22,000	614,400
			令和 8年度	1,669,260	992,800	22,000	654,460
			令和 9年度	1,620,400	984,000	22,000	614,400
			令和 10年度	1,655,400	984,000	22,000	649,400
			計	8,191,360	4,928,800	110,000	3,152,560

1. 資本的 支出	1. 建設改 良費	丸山浄水場 送配水管更新 及び中区配水 池耐震補強事 業	令和 6年度	233,566	149,000	0	84,566
			令和 7年度	681,824	434,000	0	247,824
			令和 8年度	236,062	150,000	0	86,062
			令和 9年度	194,551	124,000	0	70,551
			令和 10年度	194,551	124,000	0	70,551
			令和 11年度	14,123	9,000	0	5,123
			計	1,554,677	990,000	0	564,677

関 する 調 書

前々年度末 までの 支払義務 発生額	前年度末 までの 支払義務 発生(見込)額	当該年度 支払義務 発生予定額	当該年度末 までの 支払義務 発生予定額	翌年度 以降の 支払義務 発生予定額	継続費の 総額に 対する 進捗率
千円	千円	千円	千円	千円	%
—	—	1,625,900	1,625,900	—	19.85
—	—	—	—	1,620,400	—
—	—	—	—	1,669,260	—
—	—	—	—	1,620,400	—
—	—	—	—	1,655,400	—
—	—	1,625,900	1,625,900	6,565,460	19.85

—	—	233,566	233,566	—	15.02
—	—	—	—	681,824	—
—	—	—	—	236,062	—
—	—	—	—	194,551	—
—	—	—	—	194,551	—
—	—	—	—	14,123	—
—	—	233,566	233,566	1,321,111	15.02

債 務 負 担 行 為

事 項	限 度 額	前 年 度 末 ま で の 支 払 義 務 発 生 (見 込) 額	
		期 間	金 額
(過年度提出分)			
越水浄水場ほか運転管理業務	844,800	令和2年度から 令和5年度まで	580,800
パージ・トラップーガスクロマトグラフ質量分析計 (VOC用) 賃借	25,000	令和2年度から 令和5年度まで	15,793
パージ・トラップーガスクロマトグラフ質量分析計 (かび臭用) 賃借	28,314	令和3年度から 令和5年度まで	12,367
西宮市水道事業検針・収納等業務	1,314,990	令和4年度から 令和5年度まで	686,807
丸山浄水場ほか機械警備業務	77,000	令和4年度から 令和5年度まで	26,567
イオンクロマトグラフ賃借	30,000	令和4年度から 令和5年度まで	7,849
ポストカラムイオンクロマトグラフ賃借	24,000	令和4年度から 令和5年度まで	6,331
西宮市水道料金システム再構築業務	195,620	令和5年度	132,388
越水浄水場ほか機械警備業務	97,399	令和5年度	15,539
公 用 車 購 入 事 業	14,000	—	—
給・配水管管理システム機器賃借	12,730	—	—
丸山浄水場中央監視設備改良工事	436,887	—	—
中野中継場移転更新整備事業	386,100	—	—
国見台高区第1配水槽他耐震補強工事	99,000	—	—
(今回提出分)			
100周年記念誌制作業務	10,457	—	—
公 用 車 購 入 事 業	22,000	—	—
検針ハンディターミナル機器賃借	23,140	—	—
西宮市水道事業検針・収納等業務	2,562,992	—	—
西宮浜配水所受変電設備ほか更新工事	198,000	—	—
越木岩配水槽所受変電設備ほか更新工事	148,500	—	—
北山配水所ほか電気機械設備改良工事	79,200	—	—
中野中継場移転更新築造工事	101,200	—	—
中野中継場移転更新設備工事	229,680	—	—
東山台配水所受変電設備ほか更新工事	253,935	—	—
越水浄水場ほか包括委託業務	5,074,895	—	—

に 関 す る 調 書

(単位：千円)

当該年度以降の支払義務発生予定額		左 の 財 源 内 訳	
期 間	金 額	企 業 債	そ の 他
令和6年度	145,200	0	145,200
令和6年度	3,948	0	3,948
令和6年度から 令和7年度まで	8,245	0	8,245
令和6年度	362,593	0	362,593
令和6年度から 令和8年度まで	39,850	0	39,850
令和6年度から 令和10年度まで	19,622	0	19,622
令和6年度から 令和10年度まで	15,827	0	15,827
令和6年度	63,050	0	63,050
令和6年度から 令和9年度まで	62,157	0	62,157
令和6年度	9,900	0	9,900
令和6年度から 令和10年度まで	11,563	0	11,563
令和6年度	403,920	246,000	157,920
令和6年度	386,100	235,200	150,900
令和6年度	99,000	60,300	38,700
令和7年度	10,457	0	10,457
令和7年度	22,000	0	22,000
令和7年度から 令和11年度まで	23,140	0	23,140
令和7年度から 令和11年度まで	2,562,992	0	2,562,992
令和7年度	198,000	126,000	72,000
令和7年度	148,500	94,500	54,000
令和7年度	79,200	50,400	28,800
令和7年度	101,200	64,400	36,800
令和7年度	229,680	146,200	83,480
令和7年度	253,935	161,600	92,335
令和7年度から 令和11年度まで	5,074,895	0	5,074,895

令和6年度西宮市水道事業予定貸借対照表

(令和7年3月31日)

(単位：千円)

資 産 の 部		
1. 固 定 資 産		
(1) 有 形 固 定 資 産		
イ 土 地		8,261,179
ロ 建 物	3,637,280	
減価償却累計額	△ 2,546,662	1,090,618
ハ 構 築 物	92,551,752	
減価償却累計額	△ 49,234,371	43,317,381
ニ 機 械 及 び 装 置	19,024,006	
減価償却累計額	△ 15,008,009	4,015,997
ホ 車 両 運 搬 具	112,914	
減価償却累計額	△ 89,288	23,626
ヘ 船 舶	4,491	
減価償却累計額	△ 4,266	225
ト 工 具 器 具 及 び 備 品	167,239	
減価償却累計額	△ 149,157	18,082
チ リ ー ス 資 産	140,473	
減価償却累計額	△ 88,375	52,098
リ 建 設 仮 勘 定		1,184,599
有形固定資産合計		57,963,805
(2) 無 形 固 定 資 産		
イ 水 利 権		191,912
ロ 電 話 加 入 権		5,012
ハ 施 設 利 用 権		715,247
ニ ソ フ ト ウ ェ ア 仮 勘 定		250,632
無形固定資産合計		1,162,803
(3) 投 資 そ の 他 の 資 産		
イ 出 資 金		1,686
ロ 長 期 貸 付 金		1,500
ハ 投 資 有 価 証 券		600,000
ニ そ の 他 投 資		516
投資その他の資産合計		603,702
固定資産合計		59,730,310
2. 流 動 資 産		
(1) 現 金 預 金		4,886,030
(2) 未 収 金	1,035,292	
貸倒引当金	△ 16,960	1,018,332
(3) 貯 蔵 品		27,709
(4) 前 払 費 用		1,802
流動資産合計		5,933,873
資産合計		65,664,183
負 債 の 部		
3. 固 定 負 債		
(1) 企 業 債		
イ 建 設 改 良 企 業 債	19,882,961	
企業債合計		19,882,961

(2) リース債務		39,966	
(3) 引当金			
イ 退職給付引当金	<u>1,330,019</u>		
引当金合計		<u>1,330,019</u>	
固定負債合計			21,252,946
4. 流動負債			
(1) 企業債			
イ 建設改良企業債	<u>964,078</u>		
企業債合計		964,078	
(2) リース債務		12,471	
(3) 未払金		1,093,647	
(4) 前受金		300,972	
(5) 引当金			
イ 賞与引当金	<u>119,749</u>		
引当金合計		119,749	
(6) その他流動負債		<u>717,420</u>	
流動負債合計			3,208,337
5. 繰延収益			
(1) 長期前受金	36,235,650		
長期前受金収益化累計額	<u>△ 24,759,296</u>	<u>11,476,354</u>	
繰延収益合計			<u>11,476,354</u>
負債合計			<u>35,937,637</u>
	資 本 の 部		
6. 資本金			
(1) 自己資本金		<u>22,453,017</u>	
資本金合計			22,453,017
7. 剰余金			
(1) 資本剰余金			
イ 受贈財産評価額	2,321,836		
ロ 国庫補助金	177,312		
ハ 県補助金	1,437		
ニ 市補助金	430,563		
ホ 工事負担金	439,328		
ヘ その他資本剰余金	<u>15,272</u>		
資本剰余金合計		3,385,748	
(2) 利益剰余金			
イ 当年度未処分			
利益剰余金	<u>3,887,781</u>		
利益剰余金合計		<u>3,887,781</u>	
剰余金合計			<u>7,273,529</u>
資本合計			<u>29,726,546</u>
負債資本合計			<u>65,664,183</u>

I. 重要な会計方針

1 有価証券、出資金及び基金の評価基準及び評価方法

満期保有目的債券 償却原価法（定額法）

2 たな卸資産の評価基準及び評価方法

貯蔵品 移動平均法による原価法

3 固定資産の減価償却の方法

(1) 有形固定資産（リース資産を除く）

定額法

主な耐用年数

建物	10～50年
構築物	38～60年
機械及び装置	8～20年
車両運搬具	3～5年
工具器具及び備品	3～20年

(2) 無形固定資産

定額法。なお、自己利用のソフトウェアについては、利用可能期間（5年）に基づいている。

(3) リース資産

所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産

リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法

4 引当金の計上方法

(1) 退職給付引当金

職員の退職手当の支給に備えるため、当事業年度末における退職手当の要支給額に相当する金額を計上している。なお、会計間異動のある職員については、在籍期間で退職手当を按分し、水道事業が負担すると見込まれる額を計上している。

(2) 賞与引当金

職員の期末勤勉手当の支給に備えるため、当事業年度末における支給見込額に基づき、当事業年度の負担に属する額を計上している。

(3) 貸倒引当金

債権の不納欠損による損失に備えるため、実績率等による回収不能見込額を計上している。

5 その他会計に関する書類のための基本となる重要な事項

(1) 消費税等の会計処理

消費税及び地方消費税の会計処理は、税抜方式によっている。なお、控除対象外消費税等については、当事業年度の費用として処理している。

II. 予定貸借対照表関連

1 企業債の償還に係る他会計の負担

貸借対照表に計上されている企業債（1年以内に償還予定のものも含む）のうち、「耐震性緊急貯水槽の施設整備及び維持管理に関する協定」（平成31年3月31日付）に基づき、一般会計が負担すると見込まれる額は55,462千円である。

2 引当金の取崩し

(1) 退職給付引当金の取崩し

令和6年度において、当年度末退職者に対する退職手当として262,452千円を支給し、他会計負担分として31,834千円を収受することとなったため、退職給付引当金230,618千円を取り崩した。

(2) 賞与引当金の取崩し

令和6年度において、期末勤勉手当として301,233千円を支給することとなったため、賞与引当金122,356千円を取り崩した。

(3) 貸倒引当金の取崩し

令和6年度において、水道料金等を不納欠損するために、貸倒引当金3,412千円を取り崩した。

III. リース契約により使用する固定資産

1 リース取引の処理方法

リース料総額が300万円未満のファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理を行っている。

2 オペレーティング・リース取引のうち解約不能のものに係る未経過リース料相当額

1年内	4,122	千円
計	4,122	千円

令和5年度西宮市水道事業予定損益計算書

(令和5年4月1日から令和6年3月31日まで)

(単位：千円)

1. 営業収益			
(1) 給水収益	8,617,884		
(2) 受託工事収益	53,870		
(3) その他の営業収益	<u>438,414</u>	9,110,168	
2. 営業費用			
(1) 原水及び浄水費	746,970		
(2) 受水費	3,441,799		
(3) 配水費	1,075,996		
(4) 給水費	647,680		
(5) 受託工事費	51,203		
(6) 業務費	560,455		
(7) 総係費	514,804		
(8) 減価償却費	2,498,251		
(9) 資産減耗費	107,487		
(10) その他営業費用	<u>1,681</u>	<u>9,646,326</u>	
営業損失			536,158
3. 営業外収益			
(1) 受取利息	939		
(2) 分担金	263,985		
(3) 他会計補助金	6,692		
(4) 長期前受金戻入	762,465		
(5) 雑収益	<u>86,185</u>	1,120,266	
4. 営業外費用			
(1) 支払利息及び 企業債取扱諸費	<u>245,000</u>	<u>245,000</u>	<u>875,266</u>
経常利益			339,108

5 . 特 別 利 益

(1) 固定資産売却益	1	
(2) 過年度損益修正益	<u>500</u>	501

6 . 特 別 損 失

(1) 過年度損益修正損	<u>1,818</u>	<u>1,818</u>	<u>△ 1,317</u>
--------------	--------------	--------------	----------------

当 年 度 純 利 益	337,791
前年度繰越利益剰余金	2,884,633
そ の 他 未 処 分 利 益 剰 余 金 変 動 額	<u>778,900</u>
当 年 度 未 処 分 利 益 剰 余 金	<u><u>4,001,324</u></u>

令和5年度西宮市水道事業予定貸借対照表

(令和6年3月31日)

(単位：千円)

資 産 の 部		
1. 固 定 資 産		
(1) 有 形 固 定 資 産		
イ 土 地		8,261,279
ロ 建 物	3,637,280	
減価償却累計額	△ 2,478,823	1,158,457
ハ 構 築 物	89,325,693	
減価償却累計額	△ 47,379,832	41,945,861
ニ 機 械 及 び 装 置	19,086,837	
減価償却累計額	△ 14,537,114	4,549,723
ホ 車 両 運 搬 具	100,182	
減価償却累計額	△ 84,709	15,473
ヘ 船 舶	4,491	
減価償却累計額	△ 4,266	225
ト 工 具 器 具 及 び 備 品	163,962	
減価償却累計額	△ 145,233	18,729
チ リ ー ス 資 産	121,487	
減価償却累計額	△ 78,340	43,147
リ 建 設 仮 勘 定		1,184,599
有 形 固 定 資 産 合 計		57,177,493
(2) 無 形 固 定 資 産		
イ 水 利 権		244,141
ロ 電 話 加 入 権		5,012
ハ 施 設 利 用 権		730,466
ニ ソ フ ト ウ ェ ア 仮 勘 定		166,814
無 形 固 定 資 産 合 計		1,146,433
(3) 投 資 そ の 他 の 資 産		
イ 出 資 金		1,686
ロ 長 期 貸 付 金		750
ハ 投 資 有 価 証 券		500,000
投 資 そ の 他 の 資 産 合 計		502,436
固 定 資 産 合 計		58,826,362
2. 流 動 資 産		
(1) 現 金 預 金		5,366,595
(2) 未 収 金	1,059,917	
貸 倒 引 当 金	△ 14,572	1,045,345
(3) 貯 蔵 品		42,737
(4) 前 払 費 用		1,802
流 動 資 産 合 計		6,456,479
資 産 合 計		65,282,841
負 債 の 部		
3. 固 定 負 債		
(1) 企 業 債		
イ 建 設 改 良 企 業 債	18,916,740	
企 業 債 合 計		18,916,740

(2) リース債務		35,346	
(3) 引当金			
イ退職給付引当金	<u>1,475,487</u>		
引当金合計		<u>1,475,487</u>	
固定負債合計			20,427,573
4. 流動負債			
(1) 企業債			
イ建設改良企業債	<u>928,659</u>		
企業債合計		928,659	
(2) リース債務		12,202	
(3) 未払金		1,215,530	
(4) 前受金		261,664	
(5) 引当金			
イ賞与引当金	<u>122,356</u>		
引当金合計		122,356	
(6) その他流動負債		<u>691,420</u>	
流動負債合計			3,231,831
5. 繰延収益			
(1) 長期前受金	36,170,580		
長期前受金収益化累計額	<u>△ 24,024,118</u>	<u>12,146,462</u>	
繰延収益合計			<u>12,146,462</u>
負債合計			<u>35,805,866</u>
	資 本 の 部		
6. 資本金			
(1) 自己資本金		<u>21,674,117</u>	
資本金合計			21,674,117
7. 剰余金			
(1) 資本剰余金			
イ受贈財産評価額	2,321,836		
ロ国庫補助金	177,312		
ハ県補助金	1,437		
ニ市補助金	430,563		
ホ工事負担金	439,328		
ヘその他資本剰余金	<u>15,272</u>		
資本剰余金合計		3,385,748	
(2) 利益剰余金			
イ建設改良積立金	415,786		
ロ当年度未処分利益剰余金	<u>4,001,324</u>		
利益剰余金合計		<u>4,417,110</u>	
剰余金合計			<u>7,802,858</u>
資本合計			<u>29,476,975</u>
負債資本合計			<u>65,282,841</u>

I. 重要な会計方針

1 有価証券、出資金及び基金の評価基準及び評価方法

満期保有目的債券 償却原価法（定額法）

2 たな卸資産の評価基準及び評価方法

貯蔵品 移動平均法による原価法

3 固定資産の減価償却の方法

(1) 有形固定資産（リース資産を除く）

定額法

主な耐用年数

建物	10～50年
構築物	38～60年
機械及び装置	8～20年
車両運搬具	3～5年
工具器具及び備品	3～20年

(2) 無形固定資産

定額法。なお、自己利用のソフトウェアについては、利用可能期間（5年）に基づいている。

(3) リース資産

所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産

リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法

4 引当金の計上方法

(1) 退職給付引当金

職員の退職手当の支給に備えるため、当事業年度末における退職手当の要支給額に相当する金額を計上している。なお、会計間異動のある職員については、在籍期間で退職手当を按分し、水道事業が負担すると見込まれる額を計上している。

(2) 賞与引当金

職員の期末勤勉手当の支給に備えるため、当事業年度末における支給見込額に基づき、当事業年度の負担に属する額を計上している。

(3) 貸倒引当金

債権の不納欠損による損失に備えるため、実績率等による回収不能見込額を計上している。

5 その他会計に関する書類のための基本となる重要な事項

(1) 消費税等の会計処理

消費税及び地方消費税の会計処理は、税抜方式によっている。なお、控除対象外消費税等については、当事業年度の費用として処理している。

II. 予定貸借対照表関連

1 企業債の償還に係る他会計の負担

貸借対照表に計上されている企業債（1年以内に償還予定のものも含む）のうち、「耐震性緊急貯水槽の施設整備及び維持管理に関する協定」（平成31年3月31日付）に基づき、一般会計が負担すると見込まれる額は64,859千円である。

2 引当金の取崩し

(1) 退職給付引当金の取崩し

令和5年度において、当年度末退職者に対する退職手当として57,713千円を支給することとなったため、退職給付引当金から同額を取り崩した。

(2) 賞与引当金の取崩し

令和5年度において、期末勤勉手当として311,245千円を支給することとなったため、賞与引当金118,707千円を取り崩した。

(3) 貸倒引当金の取崩し

令和5年度において、水道料金等を不納欠損するために、貸倒引当金5,957千円を取り崩した。

(4) 修繕引当金の取崩し

令和5年度において、修繕費として148,672千円を執行することとなったため、修繕引当金1,697千円を取り崩した。

III. リース契約により使用する固定資産

1 リース取引の処理方法

リース料総額が300万円未満のファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理を行っている。

2 オペレーティング・リース取引のうち解約不能のものに係る未経過リース料相当額

1年内	4,122	千円
1年超	4,122	千円
計	8,244	千円

IV. その他

新会計基準移行に係る経過措置

1 修繕引当金に関する経過措置

平成26年3月31日以前に引き当てられたものについては、引き続き従前の例により取り崩すこととする。

令和 6 年 度

工
水

西宮市工業用水道事業会計予算

令和6年度西宮市工業用水道事業会計予算

(総 則)

第1条 令和6年度西宮市工業用水道事業会計の予算は、次に定めるところによる。

(業務の予定量)

第2条 業務の予定量は、次のとおりとする。

(1) 給水事業所数	52 所
(2) 年間総配水量	3,872,412 m ³
(3) 一日平均配水量	10,609 m ³
	(一日契約水量 17,127 m ³)
(4) 主要な建設改良事業 (浄水施設及び配水施設整備事業)	887,234 千円

(収益的収入及び支出)

第3条 収益的収入及び支出の予定額は、次のとおりと定める。

収 入	
第1款 工業用水道事業収益	422,744 千円
第1項 営業収益	412,405 千円
第2項 営業外収益	10,139 千円
第3項 特別利益	200 千円
支 出	
第1款 工業用水道事業費用	366,293 千円
第1項 営業費用	358,916 千円
第2項 営業外費用	6,977 千円
第3項 特別損失	200 千円
第4項 予備費	200 千円

(資本的収入及び支出)

第4条 資本的収入及び支出の予定額は、次のとおりと定める (資本的収入額が資本的支出額に対し不足する額 550,282 千円は、当年度消費税及び地方消費税資本的収支調整額 80,051 千円及び損益勘定留保資金 470,231 千円で補てんするものとする。)。

収 入		
第1款	資 本 的 収 入	361,200 千円
第1項	企 業 債	361,200 千円
支 出		
第1款	資 本 的 支 出	911,482 千円
第1項	建 設 改 良 費	897,145 千円
第2項	企 業 債 償 還 金	13,837 千円
第3項	予 備 費	500 千円

(企 業 債)

第5条 起債の目的、限度額、起債の方法、利率及び償還の方法は、次のとおりと定める。

起債の目的及び限度額

浄配水施設整備事業 361,200 千円

起債の方法 政府資金、地方公共団体金融機構、その他から普通貸借または証券発行による。ただし、企業財政の都合により、翌年度以降に繰延べ起債することができる。

利 率 4.0%以内

償還の方法 借入の日の翌日から30年以内（5年以内の据置を含む。）に毎半年賦の元利均等又は元金均等償還。ただし、借入先の融通条件に変更があるときはその条件に従う。

また、企業財政の都合により繰上償還をなし、また低利に借換えることができる。

(一時借入金)

第6条 一時借入金の限度額は、100,000千円と定める。

(予定支出の各項の経費の金額の流用)

第7条 予定支出の各項の経費の金額を流用することができる場合は、次のとおりと定める。

(1) 営業費用、営業外費用及び特別損失間の流用

(議会の議決を経なければ流用することのできない経費)

第 8 条 次に掲げる経費については、これらの経費の金額を、これら以外の経費の金額に流用し、又はこれら以外の経費をこれらの経費の金額に流用する場合は、議会の議決を経なければならない。

(1) 職員給与費 26,139 千円

(2) 交際費 27 千円

(他会計からの補助金)

第 9 条 収益的支出に充てるため一般会計からこの会計へ補助を受ける金額は、612 千円である。

(たな卸資産購入限度額)

第 10 条 たな卸資産の購入限度額は、10,000 千円と定める。

令和 6 年 2 月 21 日 提出

西宮市長 石井 登志郎

西宮市工業用水道事業会計予算に関する説明書

目 次

	ページ
令和6年度西宮市工業用水道事業会計予算実施計画	47
令和6年度西宮市工業用水道事業予定キャッシュ・フロー計算書	51
給与費明細書	52
債務負担行為に関する調書	62
令和6年度西宮市工業用水道事業予定貸借対照表	64
令和6年度西宮市工業用水道事業会計予算注記	66
令和5年度西宮市工業用水道事業予定損益計算書	68
令和5年度西宮市工業用水道事業予定貸借対照表	70
令和5年度西宮市工業用水道事業会計予算注記	72

令和6年度西宮市工業用水道事業会計予算実施計画

収 益 的 収 入 及 び 支 出

収 入

款	項	目	予 定 額 (千円)	備 考
1. 工業用水道 事業収益			422,744	
	1. 営業収益		412,405	
		1. 給水収益	408,592	工業用水道料金及びメーター料収入
		2. 受託工事益	3,220	給水施設工事等の受託による収入
		3. その他の営業収益	593	材料売却及びその他雑収入
	2. 営業外収益		10,139	
		1. 受取利息	88	預金利息
		2. 分担金	1	廃止及び契約水量の減による分担金収入
		3. 他会計補助金	612	児童手当に対する一般会計補助金
		4. 長期前受金戻	9,392	償却資産の減価償却・除却に伴う長期前受金の戻入益
		5. 雑収益	46	その他雑収入
	3. 特別利益		200	
		1. 過年度損益修正	200	前年度以前の損益修正による利益発生額

支 出

款	項	目	予 定 額 (千円)	備 考
1. 工業用水道 事業費用			366,293	
	1. 営業費用		358,916	
		1. 原 水 費	84,014	原水の受水に係る設備の維持に要する費用
		2. 浄 水 費	31,779	浄水設備の維持管理に要する費用
		3. 配 水 費	153,311	浄水の配水に係る設備の維持管理に要する費用
		4. 受託工事費	2,749	給水施設工事等受託工事に要する費用
		5. 業 務 費	238	料金の徴収、検針その他業務に要する費用
		6. 総 係 費	20,275	事業活動の全般に関連する費用
		7. 減価償却費	57,445	有形及び無形固定資産の減価償却費
		8. 資産減耗費	9,075	有形固定資産の除却損及びたな卸資産の減耗費
		9. そ の 他 営業費用	30	材料売却原価
	2. 営業外費用		6,977	
		1. 支 払 利 息 及び企業債 取 扱 諸 費	3,977	企業債利息
2. 消 費 税 及 び 地 方 消 費 税		3,000	納税予定額	

款	項	目	予 定 額 (千円)	備 考
	3. 特 別 損 失		200	
		1. 過 年 度 損 益 修 正 損	200	前年度以前の損益修正による 損失発生額
	4. 予 備 費		200	
		1. 予 備 費	200	

資 本 的 収 入 及 び 支 出

収 入

款	項	目	予 定 額 (千円)	備 考
1. 資本的収入			361,200	
	1. 企 業 債		361,200	
		1. 企 業 債	361,200	浄配水施設整備事業に充当する企業債

支 出

款	項	目	予 定 額 (千円)	備 考
1. 資本的支出			911,482	
	1. 建設改良費		897,145	
		1. 固 定 資 産 購 入 費	9,463	固定資産の取得に要する費用
		2. 原 水 及 び 浄 水 施 設 費	208,551	取水、導水及び浄水設備の整備に要する費用
		3. 配 水 施 設 費	679,131	配水設備及び配水管の整備に要する費用
	2. 企 業 債 還 金		13,837	
		1. 企 業 債 還 金	13,837	元金償還
	3. 予 備 費		500	
		1. 予 備 費	500	

令和6年度西宮市工業用水道事業予定キャッシュ・フロー計算書

(令和6年4月1日から令和7年3月31日まで)

(単位：千円)

I 営業活動によるキャッシュ・フロー		
1	当期純利益	40,830
2	有形固定資産及び 無形固定資産の減価償却費	57,445
3	有形固定資産除却費等	8,775
4	減損損失	0
5	長期前受金戻入	△ 9,392
6	引当金の増加・減少 (△)	1,472
7	受取利息収入	△ 88
8	支払利息及び企業債取扱諸費	3,977
9	営業及び営業外未収金の増加 (△) ・減少	△ 14,797
10	たな卸資産の増加 (△) ・減少	530
11	前払費用の増加 (△) ・減少	0
12	営業及び営業外未払金等の増加・減少 (△)	△ 5,319
13	その他流動負債の増加・減少 (△)	130
14	固定資産の売却益	0
営業活動によるキャッシュ・フロー		83,563
II 投資活動によるキャッシュ・フロー		
1	固定資産取得・建設改良事業等実施額	△ 817,594
2	上記1の実施に係る補助金、負担金等収入	0
3	固定資産の売却収入	0
4	受取利息収入	88
5	投資の増加 (△) ・減少	0
6	有価証券の増加 (△) ・減少	0
7	貸付金支出	0
8	貸付金返還収入	0
9	投資活動に伴う前払金等の債権の増加 (△) ・減少	0
10	投資活動に伴う未払金等の債務の増加・減少 (△)	6,260
投資活動によるキャッシュ・フロー		△ 811,246
III 財務活動によるキャッシュ・フロー		
1	企業債の発行	361,200
2	企業債の償還	△ 13,837
3	支払利息及び企業債取扱諸費	△ 3,977
財務活動によるキャッシュ・フロー		343,386
IV 現金及び現金同等物の増加額		△ 384,297
V 現金及び現金同等物の期首残高		2,841,338
VI 現金及び現金同等物の期末残高		2,457,041

注 現金同等物のうち定期預金は、3カ月以内のものである。

1. 総 括

区 分	職 員 数 (人)		給	
	特 別 職	一 般 職	報 酬	給 料
本 年 度	0	3 (0)	0	10,655
前 年 度	0	3 (0)	0	10,858
比 較	0	0 (0)	0	△ 203

()内は、再任用短時間勤務職員について外書き。

手 当 等 の 内 訳	区 分	地域手当	扶養手当	住居手当	管理職手当	時間外勤務 手 当
	本 年 度	1,734	360	312	759	860
	前 年 度	1,893	678	468	1,518	430
	比 較	△ 159	△ 318	△ 156	△ 759	430

ア. 会計年度任用職員以外の職員

区 分	職 員 数 (人)		給	
	特 別 職	一 般 職	報 酬	給 料
本 年 度	0	3 (0)	0	10,655
前 年 度	0	3 (0)	0	10,858
比 較	0	0 (0)	0	△ 203

()内は、再任用短時間勤務職員について外書き。

手 当 等 の 内 訳	区 分	地域手当	扶養手当	住居手当	管理職手当	時間外勤務 手 当
	本 年 度	1,734	360	312	759	860
	前 年 度	1,893	678	468	1,518	430
	比 較	△ 159	△ 318	△ 156	△ 759	430

イ. 会計年度任用職員

区 分	職 員 数 (人)		給	
	特 別 職	一 般 職	報 酬	給 料
本 年 度	0	0	0	0
前 年 度	0	0	0	0
比 較	0	0	0	0

手当等は期末手当。

明 細 書

(単位：千円)

与		費		法定福利費	合 計
手 当 等		計			
	11,536		22,191	3,948	26,139
	13,164		24,022	4,477	28,499
△	1,628	△	1,831	△ 529	△ 2,360

(単位：千円)

特殊勤務手 当	通勤手当	管理職員 特別勤務手当	期末勤勉 手 当	児童手当	退職給付費
35	409	0	4,865	780	1,422
38	238	0	5,171	1,080	1,650
△ 3	171	0	△ 306	△ 300	△ 228

(単位：千円)

与		費		法定福利費	合 計
手 当 等		計			
	11,536		22,191	3,948	26,139
	13,164		24,022	4,477	28,499
△	1,628	△	1,831	△ 529	△ 2,360

(単位：千円)

特殊勤務手 当	通勤手当	管理職員 特別勤務手当	期末勤勉 手 当	児童手当	退職給付費
35	409	0	4,865	780	1,422
38	238	0	5,171	1,080	1,650
△ 3	171	0	△ 306	△ 300	△ 228

(単位：千円)

与		費		法定福利費	合 計
手 当 等		計			
	0		0	0	0
	0		0	0	0
	0		0	0	0

2. 給料及び手当等の増減額の明細

区 分	増減額 (千円)	増 減 事 由 別 内 訳 (千円)	
給 料	△ 203	給与改定に伴う増減分	
		昇給に伴う増加分	194
		その他の増減分	△ 397
手 当 等	△ 1,628	制度改正等に伴う増減分	
		その他の増減分	△ 1,628

説 明	備 考
職員の異動等による減	
地 域 手 当 △ 159千円 扶 養 手 当 △ 318千円 住 居 手 当 △ 156千円 管 理 職 手 当 △ 759千円 時間外勤務手当 430千円 特 殊 勤 務 手 当 △ 3千円 通 勤 手 当 171千円 期 末 勤 勉 手 当 △ 306千円 児 童 手 当 △ 300千円 退 職 給 付 費 △ 228千円 (引当金繰入額)	(参考) 当年度期末勤勉手当支払額 4,865千円 (参考) 当年度退職手当支払額 (引当金取崩) 0千円

3. 給料及び手当の状況

(1) 職員1人当たり給与

区 分		全 職 員
令和6年1月1日現在	平均給料月額 (円)	290,567
	平均給与月額 (円)	371,568
	平均年齢 (歳)	36.01
令和5年1月1日現在	平均給料月額 (円)	320,525
	平均給与月額 (円)	436,660
	平均年齢 (歳)	41.06

(2) 初任給

区 分		事 務 職 (円)
令和6年1月1日現在	高 校 卒	165,800
	大 学 卒	190,600

一般会計の制度

区 分		一 般 行 政 職 (円)
令和6年1月1日現在	高 校 卒	165,800
	大 学 卒	190,600

事務職	技術職	技能労務職
270,800	330,100	—
317,920	478,865	—
33.10	40.07	—
321,200	318,500	—
427,038	465,525	—
42.01	39.07	—

(再任用短時間勤務職員を除く。給与には時間外勤務手当及び特殊勤務手当を含まない。)

技術職 (円)	技能労務職 (円)
165,800	161,800
190,600	—

技能労務職 (円)
161,800
—

(3) 級別職員数

区 分	全 職 員			事 務	
	級	職員数 (人)	構成比 (%)	級	職員数 (人)
令和6年1月1日現在	7 級	0	0.0	7 級	0
	6 級	0	0.0	6 級	0
	5 級	0	0.0	5 級	0
	4 級	1	33.4	4 級	0
	3 級	1	33.3	3 級	1
	2 級	1	33.3	2 級	1
	1 級	0	0.0	1 級	0
	計	3	100.0	計	2
令和5年1月1日現在	8 級	0	0.0	8 級	0
	7 級	0	0.0	7 級	0
	6 級	0	0.0	6 級	0
	5 級	3	75.0	5 級	2
	4 級	0	0.0	4 級	0
	3 級	0	0.0	3 級	0
	2 級	1	25.0	2 級	1
	1 級	0	0.0	1 級	0
	計	4	100.0	計	3

(級別の基準となる職務)

区 分	7 級	6 級	5 級	4 級
企業職	次 長	部 長	課 長	係 長

R5.4.1 付給料表の切替に伴い、企業一般職給料表における級構成を8級制から7級制に変更。

職	技 術 職			技 能 勞 務 職		
	級	職員数 (人)	構成比 (%)	級	職員数 (人)	構成比 (%)
0.0	7 級	0	0.0			
0.0	6 級	0	0.0			
0.0	5 級	0	0.0			
0.0	4 級	1	100.0	4 級	0	0.0
50.0	3 級	0	0.0	3 級	0	0.0
50.0	2 級	0	0.0	2 級	0	0.0
0.0	1 級	0	0.0	1 級	0	0.0
100.0	計	1	100.0	計	0	0.0
0.0	8 級	0	0.0			
0.0	7 級	0	0.0			
0.0	6 級	0	0.0			
66.7	5 級	1	100.0			
0.0	4 級	0	0.0	4 級	0	0.0
0.0	3 級	0	0.0	3 級	0	0.0
33.3	2 級	0	0.0	2 級	0	0.0
0.0	1 級	0	0.0	1 級	0	0.0
100.0	計	1	100.0	計	0	0.0

3 級	2 級	1 級
主 査	副 主 査	主 事 師 技 師

(4) 特殊勤務手当

区 分	全 職 種	事 務 職	技 術 職	技能労務職
給料総額に対する比率 (%)	0.08	0.00	0.23	—
支給対象職員の比率 (%) (令和6年1月1日現在)	33.3	0.0	100.0	—
支給対象職員1人当たり 平均支給月額 (円)	760	0	760	—
代表的な特殊勤務手当の 名 称	特殊業務従事手当			

(5) 期末勤勉手当

区 分	支 給 期 別 支 給 率		支給率計 (月分)	職制上の段 階、職務の 級等による 加算措置	備 考
	6月 (月分)	12月 (月分)			
本 年 度	2.2 (1.15)	2.2 (1.15)	4.4 (2.3)	有	加算割合5%~20%
前 年 度	2.2 (1.15)	2.2 (1.15)	4.4 (2.3)	有	加算割合5%~20%
一般会計の制度	2.2 (1.15)	2.2 (1.15)	4.4 (2.3)	有	加算割合5%~20%

()内は、再任用職員の支給率。

(6) 定年退職及び定年前早期退職に係る退職手当

区 分	支 給 率 等	一 般 会 計 の 制 度 (支給率等)
20年勤続の者 (月分)	24.586875	24.586875
25年勤続の者 (月分)	33.27075	33.27075
35年勤続の者 (月分)	47.709	47.709
最 高 限 度 (月分)	47.709	47.709
そ の 他 の 加 算 措 置 等	定年前早期退職 特例措置	定年前早期退職 特例措置
備 考	算定基礎（退職時の給料 月額）を3%～45%加算	算定基礎（退職時の給料 月額）を3%～45%加算

(7) その他の手当

区 分	一般会計の制度との異同	差 異 の 内 容
扶 養 手 当	同	—
地 域 手 当	同	—
住 居 手 当	同	—
通 勤 手 当	同	—

債 務 負 担 行 為

事 項	限 度 額	前年度末までの支払 義務発生（見込）額	
		期 間	金 額
(過年度提出分)			
中新田浄水場受変電設備ほか改良 工事	382,140	—	—
中新田浄水場配水ポンプ改良工事	237,600	—	—

に 関 する 調 書

(単位：千円)

当該年度以降の支払義務発生予定額		左 の 財 源 内 訳	
期 間	金 額	企 業 債	そ の 他
令和6年度	382,140	173,000	209,140
令和6年度	237,600	108,000	129,600

令和6年度西宮市工業用水道事業予定貸借対照表

(令和7年3月31日)

(単位：千円)

資 産 の 部			
1. 固 定 資 産			
(1) 有 形 固 定 資 産			
イ 土 地		48,606	
ロ 建 物	203,844		
減価償却累計額	△ 188,289		15,555
ハ 構 築 物	3,598,842		
減価償却累計額	△ 2,515,097		1,083,745
ニ 機 械 及 び 装 置	1,915,562		
減価償却累計額	△ 1,394,592		520,970
ホ 車 両 運 搬 具	1,007		
減価償却累計額	△ 990		17
ヘ 工 具 器 具 及 び 備 品	1,958		
減価償却累計額	△ 842		1,116
ト 建 設 仮 勘 定		16,848	
有形固定資産合計			1,686,857
(2) 無 形 固 定 資 産			
イ 電 話 加 入 権		11	
ロ ソ フ ト ウ ェ ア		4	
無形固定資産合計			15
(3) 投 資 そ の 他 の 資 産			
イ 出 資 金		2,814	
投資その他の資産合計			2,814
固定資産合計			1,689,686
2. 流 動 資 産			
(1) 現 金 預 金		2,457,041	
(2) 未 収 金		61,908	
(3) 貯 蔵 品		769	
(4) 前 払 費 用		72	
流動資産合計			2,519,790
資 産 合 計			4,209,476

負債の部

3. 固定負債			
(1) 企業債			
イ 建設改良企業債	<u>731,903</u>		
企業債合計		731,903	
(2) 引当金			
イ 退職給付引当金	<u>65,858</u>		
引当金合計		<u>65,858</u>	
固定負債合計			797,761
4. 流動負債			
(1) 企業債			
イ 建設改良企業債	<u>12,519</u>		
企業債合計		12,519	
(2) 未払金		29,234	
(3) 引当金			
イ 賞与引当金	<u>1,918</u>		
引当金合計		1,918	
(4) その他流動負債		<u>259</u>	
流動負債合計			43,930
5. 繰延収益			
(1) 長期前受金	1,523,309		
長期前受金収益化累計額	<u>△ 1,420,055</u>	<u>103,254</u>	
繰延収益合計			103,254
負債合計			<u>944,945</u>

資本の部

6. 資本金			
(1) 自己資本金		<u>1,873,938</u>	
資本金合計			1,873,938
7. 剰余金			
(1) 資本剰余金			
イ 受贈財産評価額	29,914		
ロ 他会計補助金	157,129		
ハ 工事負担金	<u>335,604</u>		
資本剰余金合計		522,647	
(2) 利益剰余金			
イ 建設改良積立金	428,000		
ロ 当年度未処分利益剰余金	<u>439,946</u>		
利益剰余金合計		<u>867,946</u>	
剰余金合計			<u>1,390,593</u>
資本合計			<u>3,264,531</u>
負債資本合計			<u><u>4,209,476</u></u>

令和6年度西宮市工業用水道事業会計予算注記

I. 重要な会計方針

1 有価証券、出資金及び基金の評価基準及び評価方法

満期保有目的債券 償却原価法（定額法）

2 たな卸資産の評価基準及び評価方法

貯蔵品 移動平均法による原価法

3 固定資産の減価償却の方法

(1) 有形固定資産（リース資産を除く）

定額法

主な耐用年数

建物	10～50年
構築物	10～60年
機械及び装置	8～20年
車両運搬具	3～5年
工具器具及び備品	4～10年

(2) 無形固定資産

定額法。なお、自己利用のソフトウェアについては、利用可能期間（5年）に基づいている。

4 引当金の計上方法

(1) 退職給付引当金

職員の退職手当の支給に備えるため、当事業年度末における退職手当の要支給額に相当する金額を計上している。なお、会計間異動のある職員については、在籍期間で退職手当を按分し、工業用水道事業が負担すると見込まれる額を計上している。

(2) 賞与引当金

職員の期末勤勉手当の支給に備えるため、当事業年度末における支給見込額に基づき、当事業年度の負担に属する額を計上している。

(3) 貸倒引当金

貸倒実績がないため、計上していない。

5 その他会計に関する書類のための基本となる重要な事項

(1) 消費税等の会計処理

消費税及び地方消費税の会計処理は、税抜方式によっている。なお、控除対象外消費税等については、当事業年度の費用として処理している。

II. 予定貸借対照表関連

1 引当金の取崩し

(1) 賞与引当金の取崩し

令和6年度において、期末勤勉手当として4,865千円を支給することとなったため、賞与引当金1,868千円を取り崩した。

令和5年度西宮市工業用水道事業予定損益計算書

(令和5年4月1日から令和6年3月31日まで)

(単位：千円)

1. 営業収益

(1) 給水収益	282,665	
(2) 受託工事収益	2,928	
(3) その他の営業収益	<u>685</u>	286,278

2. 営業費用

(1) 原水費	90,067	
(2) 浄水費	28,293	
(3) 配水費	137,958	
(4) 受託工事費	2,500	
(5) 業務費	383	
(6) 総係費	20,417	
(7) 減価償却費	56,743	
(8) 資産減耗費	6,427	
(9) その他営業費用	<u>30</u>	<u>342,818</u>

営業損失 56,540

3. 営業外収益

(1) 受取利息	91	
(2) 分担金	1	
(3) 他会計補助金	828	
(4) 長期前受金戻入	12,212	
(5) 雑収益	<u>46</u>	13,178

4. 営業外費用

(1) 支払利息及び 企業債取扱諸費	<u>3,392</u>	<u>3,392</u>	<u>9,786</u>
-----------------------	--------------	--------------	--------------

経常損失 46,754

5. 特別利益			
(1) 過年度損益修正益	<u>200</u>	200	
6. 特別損失			
(1) 過年度損益修正損	<u>181</u>	<u>181</u>	<u>19</u>
当年度純損失			46,735
前年度繰越利益剰余金			<u>445,851</u>
当年度未処分利益剰余金			<u><u>399,116</u></u>

令和5年度西宮市工業用水道事業予定貸借対照表

(令和6年3月31日)

(単位：千円)

資 産 の 部			
1. 固 定 資 産			
(1) 有 形 固 定 資 産			
イ 土 地		48,606	
ロ 建 物	203,844		
	減価償却累計額	△ 185,962	17,882
ハ 構 築 物	2,979,307		
	減価償却累計額	△ 2,488,533	490,774
ニ 機 械 及 び 装 置	1,726,278		
	減価償却累計額	△ 1,366,360	359,918
ホ 車 両 運 搬 具	1,007		
	減価償却累計額	△ 990	17
ヘ 工 具 器 具 及 び 備 品	1,958		
	減価償却累計額	△ 523	1,435
ト 建 設 仮 勘 定		16,848	
有形固定資産合計		935,480	
(2) 無 形 固 定 資 産			
イ 電 話 加 入 権		11	
ロ ソ フ ト ウ ェ ア		7	
無形固定資産合計		18	
(3) 投 資 そ の 他 の 資 産			
イ 出 資 金		2,814	
投資その他の資産合計		2,814	
固定資産合計		938,312	
2. 流 動 資 産			
(1) 現 金 預 金		2,841,338	
(2) 未 収 金		47,111	
(3) 貯 蔵 品		1,299	
(4) 前 払 費 用		72	
流動資産合計		2,889,820	
資 産 合 計		3,828,132	

負債の部

3. 固定負債			
(1) 企業債			
イ 建設改良企業債	<u>383,223</u>		
企業債合計		383,223	
(2) 引当金			
イ 退職給付引当金	<u>64,436</u>		
引当金合計		<u>64,436</u>	
固定負債合計			447,659
4. 流動負債			
(1) 企業債			
イ 建設改良企業債	<u>13,836</u>		
企業債合計		13,836	
(2) 未払金		28,293	
(3) 引当金			
イ 賞与引当金	<u>1,868</u>		
引当金合計		1,868	
(4) その他流動負債		<u>129</u>	
流動負債合計			44,126
5. 繰延収益			
(1) 長期前受金	1,523,309		
長期前受金収益化累計額	<u>△ 1,410,663</u>	<u>112,646</u>	
繰延収益合計			<u>112,646</u>
負債合計			<u>604,431</u>

資本の部

6. 資本金			
(1) 自己資本金		<u>1,873,938</u>	
資本金合計			1,873,938
7. 剰余金			
(1) 資本剰余金			
イ 受贈財産評価額	29,914		
ロ 他会計補助金	157,129		
ハ 工事負担金	<u>335,604</u>		
資本剰余金合計		522,647	
(2) 利益剰余金			
イ 建設改良積立金	428,000		
ロ 当年度未処分利益剰余金	<u>399,116</u>		
利益剰余金合計		<u>827,116</u>	
剰余金合計			<u>1,349,763</u>
資本合計			<u>3,223,701</u>
負債資本合計			<u>3,828,132</u>

令和5年度西宮市工業用水道事業会計予算注記

I. 重要な会計方針

1 有価証券、出資金及び基金の評価基準及び評価方法

満期保有目的債券 償却原価法（定額法）

2 たな卸資産の評価基準及び評価方法

貯蔵品 移動平均法による原価法

3 固定資産の減価償却の方法

(1) 有形固定資産（リース資産を除く）

定額法

主な耐用年数

建物	10～50年
構築物	10～60年
機械及び装置	8～20年
車両運搬具	3～5年
工具器具及び備品	4～10年

(2) 無形固定資産

定額法。なお、自己利用のソフトウェアについては、利用可能期間（5年）に基づいている。

4 引当金の計上方法

(1) 退職給付引当金

職員の退職手当の支給に備えるため、当事業年度末における退職手当の要支給額に相当する金額を計上している。なお、会計間異動のある職員については、在籍期間で退職手当を按分し、工業用水道事業が負担すると見込まれる額を計上している。

(2) 賞与引当金

職員の期末勤勉手当の支給に備えるため、当事業年度末における支給見込額に基づき、当事業年度の負担に属する額を計上している。

5 その他会計に関する書類のための基本となる重要な事項

(1) 消費税等の会計処理

消費税及び地方消費税の会計処理は、税抜方式によっている。なお、控除対象外消費税等については、当事業年度の費用として処理している。

Ⅱ. 予定貸借対照表関連

1 引当金の取崩し

(1) 退職給付引当金の取崩し

令和5年度において、他会計で退職した職員の工業用水道事業会計が負担する退職手当負担金を支出することになったため、退職給付引当金 **1,399** 千円を取り崩した。

(2) 賞与引当金の取崩し

令和5年度において、期末勤勉手当として **4,709** 千円を支給することとなったため、賞与引当金 **1,887** 千円を取り崩した。

令 和 6 年 度

西宮市下水道事業会計予算

下
水

令和6年度西宮市下水道事業会計予算

(総 則)

第1条 令和6年度西宮市下水道事業会計の予算は、次に定めるところによる。

(業務の予定量)

第2条 業務の予定量は、次のとおりとする。

(1) 処 理 面 積	4,829 ha
(2) 年 間 処 理 水 量	73,328,500 m ³
(3) 一 日 平 均 処 理 水 量	200,900 m ³
(4) 主要な建設改良事業	6,859,399 千円
┌ 管渠、ポンプ場及び処理場整備事業	6,617,600 千円
	└ 流域下水道等整備事業

(収益的収入及び支出)

第3条 収益的収入及び支出の予定額は、次のとおりと定める。

収 入	
第1款 下水道事業収益	12,125,030 千円
第1項 営業収益	8,608,752 千円
第2項 営業外収益	3,515,778 千円
第3項 特別利益	500 千円
支 出	
第1款 下水道事業費用	11,972,572 千円
第1項 営業費用	11,201,422 千円
第2項 営業外費用	767,150 千円
第3項 特別損失	2,000 千円
第4項 予備費	2,000 千円

(資本的収入及び支出)

第4条 資本的収入及び支出の予定額は、次のとおりと定める（資本的収入額が資本的支出額に対し不足する額 4,207,034 千円は、当年度消費税及び地方消費税資本的収支調整額 349,392 千円、損益勘定留保資金 3,857,642 千円で補てんするものとする。）。)

		収	入
第1款	資本的収入		6,821,681 千円
第1項	企業債		3,692,700 千円
第2項	国庫補助金		3,009,700 千円
第3項	他会計補助金		106,237 千円
第4項	工事負担金		12,146 千円
第5項	長期貸付金返還金		883 千円
第6項	基金運用収入		15 千円
		支	出
第1款	資本的支出		11,028,715 千円
第1項	建設改良費		7,123,117 千円
第2項	企業債償還金		3,897,927 千円
第3項	投資		5,671 千円
第4項	予備費		2,000 千円

(債務負担行為)

第5条 債務負担行為をすることができる事項、期間及び限度額は、次のとおりと定める。

事 項	期 間	限 度 額
久寿川ポンプ場機械設備改築工事	令和7年度	140,000 千円
枝川ポンプ場機械設備改築工事	令和7年度	210,000 千円
鳴尾浜浄化センター中央監視設備改築工事	令和7年度	150,000 千円
甲子園浜浄化センター機械設備改築工事	令和7年度	200,000 千円
甲子園浜浄化センター電気設備改築工事	令和7年度	100,000 千円
下水道管渠改築工事	令和7年度	300,000 千円
雨水貯留施設整備工事	令和7年度	450,000 千円
中央運動公園雨水貯留施設整備負担金	令和7年度から 令和11年度まで	1,080,000 千円
下水道施設包括委託検討調査業務	令和7年度	48,000 千円
合流貯留管建設工事その6	令和7年度から 令和11年度まで	7,390,000 千円
西宮処理場・久寿川ポンプ場外包括的 運転維持管理業務	令和7年度から 令和11年度まで	5,800,000 千円

(企 業 債)

第6条 起債の目的、限度額、起債の方法、利率及び償還の方法は、次のとおりと定める。

起債の目的及び限度額

公共下水道事業	3,557,900 千円
流域下水道事業	134,800 千円
計	3,692,700 千円

起債の方法 政府資金、地方公共団体金融機構、その他から普通貸借または証券発行による。ただし、企業財政の都合により、翌年度以降に繰延べ起債することができる。

利 率 4.0%以内

償還の方法 借入の日の翌日から 30 年以内（5 年以内の据置を含む。）に
毎半年賦の元利均等又は元金均等償還。ただし、借入先の融通
条件に変更があるときはその条件に従う。

また、企業財政の都合により繰上償還をなし、また低利に借
換えることができる。

（一時借入金）

第 7 条 一時借入金の限度額は、2,000,000 千円と定める。

（予定支出の各項の経費の金額の流用）

第 8 条 予定支出の各項の経費の金額を流用することができる場合は、次のとおり
と定める。

(1) 営業費用、営業外費用及び特別損失間の流用

（議会の議決を経なければ流用することのできない経費）

第 9 条 次に掲げる経費については、これらの経費の金額を、これら以外の経費の
金額に流用し、又はこれら以外の経費をこれらの経費の金額に流用する場合は、
議会の議決を経なければならない。

(1) 職員給与費 759,335 千円

(2) 交際費 143 千円

（他会計からの補助金）

第 10 条 収益的支出及び資本的支出に充てるため一般会計からこの会計へ補助を
受ける金額は、3,489,900 千円である。

令和 6 年 2 月 21 日 提出

西宮市長 石 井 登志郎

西宮市下水道事業会計予算に関する説明書

目 次

	ページ
令和6年度西宮市下水道事業会計予算実施計画	83
令和6年度西宮市下水道事業予定キャッシュ・フロー計算書	87
給与費明細書	88
債務負担行為に関する調書	98
令和6年度西宮市下水道事業予定貸借対照表	102
令和6年度西宮市下水道事業会計予算注記	104
令和5年度西宮市下水道事業予定損益計算書	106
令和5年度西宮市下水道事業予定貸借対照表	108
令和5年度西宮市下水道事業会計予算注記	110

令和6年度西宮市下水道事業会計予算実施計画

収益的収入及び支出

収 入

款	項	目	予 定 額 (千円)	備 考
1. 下水道事業収益			12,125,030	
	1. 営業収益		8,608,752	
		1. 下水道料	5,710,728	下水道使用料
		2. 雨水処理負担金	2,542,986	雨水処理経費に対する一般会計負担金
		3. 他会計負担金	316,159	不明水処理費等に対する一般会計負担金
		4. その他の営業収益	38,879	県委託金その他雑収入
	2. 営業外収益		3,515,778	
		1. 受取利息	3	預金利息
		2. 国庫補助金	1,000	雨水貯留・浸透施設設置助成に対する国庫補助金
		3. 他会計補助金	524,518	分流式下水道経費、高度処理費等に対する一般会計補助金
		4. 長期前受金戻	2,953,880	償却資産の減価償却・除却に伴う長期前受金の戻入益
		5. 雑収益	36,377	その他雑収入
	3. 特別利益		500	
		1. 過年度損益修正益	500	前年度以前の損益修正による利益発生額

支 出

款	項	目	予 定 額 (千円)	備 考
1. 下水道 事業費用			11,972,572	
	1. 営業費用		11,201,422	
		1. 管 渠 費	215,562	管渠の維持管理に要する費用
		2. ポンプ場費	540,912	ポンプ場の維持管理に要する費用
		3. 処 理 場 費	2,153,933	処理場の維持管理に要する費用
		4. 流域下水道 維持管理 負担金	757,449	流域下水道の維持管理について負担する費用
		5. 業 務 費	313,617	料金の徴収、その他業務に要する費用
		6. 総 係 費	283,803	事業活動の全般に関連する費用
		7. 減 価 償 却 費	6,783,136	有形及び無形固定資産の減価償却費
		8. 資 産 減 耗 費	153,010	有形固定資産の除却損
		2. 営業外費用	767,150	
		1. 支 払 利 息 及び企業債 取扱諸費	620,155	企業債等利息
		2. 長 期 前 払 消 費 税 額 償 却	96,995	長期前払消費税額の償却費
		3. 消 費 税 及 び 地 方 消 費 税	50,000	納税予定額
		3. 特別損失	2,000	
		1. 過 年 度 損 益 修 正 損	2,000	前年度以前の損益修正による損失発生額
		4. 予 備 費	2,000	
		1. 予 備 費	2,000	

資 本 的 収 入 及 び 支 出

収 入

款	項	目	予 定 額 (千円)	備 考
1. 資本的収入			6,821,681	
	1. 企 業 債		3,692,700	
		1. 企 業 債	3,692,700	公共下水道・流域下水道等整備事業に充当する企業債
	2. 国庫補助金		3,009,700	
		1. 国庫補助金	3,009,700	公共下水道整備事業に対する国庫補助金
	3. 他 会 計 金 補 助 金		106,237	
		1. 他 会 計 金 補 助 金	106,237	用地取得にかかる元金償還等に対する一般会計補助金
	4. 工事負担金		12,146	
		1. 工事負担金	12,146	下水道事業受益者負担金及び公共下水道整備費負担金
	5. 長期貸付金 返 還 金		883	
		1. 長期貸付金 返 還 金	883	水洗便所改造資金貸付金返還金
	6. 基金運用 収 入		15	
		1. 基金運用 収 入	15	下水道事業費基金運用収入

支 出

款	項	目	予 定 額 (千円)	備 考
1. 資本的支出			11,028,715	
	1. 建設改良費		7,123,117	
		1. 固 定 資 産 購 入 費	3,282	固定資産の取得に要する費用
		2. 公 共 下 水 道 整 備 費	6,878,036	公共下水道の整備に要する費用
		3. 流 域 下 水 道 等 整 備 費	241,799	流域下水道等の整備に要する費用
	2. 企 業 債 償 還 金		3,897,927	
		1. 企 業 債 償 還 金	3,897,927	元金償還
	3. 投 資		5,671	
		1. 長 期 貸 付 金	5,656	水洗便所改造資金貸付金
		2. 基 金 積 立 金	15	下水道事業費基金運用益積立金
	4. 予 備 費		2,000	
		1. 予 備 費	2,000	

令和6年度西宮市下水道事業予定キャッシュ・フロー計算書

(令和6年4月1日から令和7年3月31日まで)

(単位：千円)

I 営業活動によるキャッシュ・フロー	
1 当期純利益	15,355
2 有形固定資産及び 無形固定資産の減価償却費	6,783,136
3 有形固定資産除却費等	153,010
4 長期前払消費税額償却	96,995
5 長期前受金戻入	△ 2,953,880
6 引当金の増加・減少(△)	12,500
7 受取利息収入	△ 3
8 支払利息及び企業債取扱諸費	620,155
9 企業債利息にかかる負担金・補助金収入	△ 350,090
10 営業及び営業外未収金の増加(△)・減少	11,697
11 前払費用の増加(△)・減少	0
12 営業及び営業外未払金等の増加・減少(△)	0
13 その他流動負債の増加・減少(△)	△ 5,000
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,383,875
II 投資活動によるキャッシュ・フロー	
1 固定資産取得・建設改良事業等実施額	△ 6,504,533
2 上記1の実施に係る補助金、負担金等収入	3,024,739
3 受取利息収入	3
4 貸付金支出	△ 5,656
5 貸付金返還収入	883
6 基金積立金	△ 15
7 基金運用収入	15
8 投資活動に伴う前払金等の債権の増加(△)・減少	0
9 投資活動に伴う未払金等の債務の増加・減少(△)	△ 19,998
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 3,504,562
III 財務活動によるキャッシュ・フロー	
1 企業債の発行	3,692,700
2 企業債の償還	△ 3,897,927
3 企業債の償還にかかる補助金収入	103,051
4 支払利息及び企業債取扱諸費	△ 620,155
5 企業債利息にかかる負担金・補助金収入	350,090
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 372,241
IV 現金及び現金同等物の増加額	507,072
V 現金及び現金同等物の期首残高	5,229,818
VI 現金及び現金同等物の期末残高	5,736,890

注 現金同等物のうち定期預金は、3カ月以内のものである。

1. 総 括

区 分	職 員 数 (人)		給	
	特 別 職	一 般 職	報 酬	給 料
本 年 度	0	83 (2)	7,408	315,583
前 年 度	0	85 (2)	9,722	318,300
比 較	0	△ 2 (0)	△ 2,314	△ 2,717

()内は、再任用短時間勤務職員について外書き。

手 当 等 の 内 訳	区 分	地域手当	扶養手当	住居手当	管理職手当	時間外勤務 手 当
	本 年 度	51,884	10,512	11,076	26,088	15,475
	前 年 度	52,357	11,934	10,608	24,477	15,635
	比 較	△ 473	△ 1,422	468	1,611	△ 160

ア. 会計年度任用職員以外の職員

区 分	職 員 数 (人)		給	
	特 別 職	一 般 職	報 酬	給 料
本 年 度	0	80 (2)	0	315,583
前 年 度	0	81 (2)	0	318,300
比 較	0	△ 1 (0)	0	△ 2,717

()内は、再任用短時間勤務職員について外書き。

手 当 等 の 内 訳	区 分	地域手当	扶養手当	住居手当	管理職手当	時間外勤務 手 当
	本 年 度	51,884	10,512	11,076	26,088	15,475
	前 年 度	52,357	11,934	10,608	24,477	15,635
	比 較	△ 473	△ 1,422	468	1,611	△ 160

イ. 会計年度任用職員

区 分	職 員 数 (人)		給	
	特 別 職	一 般 職	報 酬	給 料
本 年 度	0	3	7,408	0
前 年 度	0	4	9,722	0
比 較	0	△ 1	△ 2,314	0

手当等は期末手当。

明 細 書

(単位：千円)

与		費		法 定 福 利 費	合 計
手 当 等		計			
309,745		632,736		126,599	759,335
309,504		637,526		127,578	765,104
241		△ 4,790	△	979	△ 5,769

(単位：千円)

特殊勤務 手 当	通勤手当	管 理 職 員 特別勤務手当	期末勤勉 手 当	児童手当	退職給付費
1,783	11,747	168	148,067	7,165	25,780
1,803	11,197	150	148,777	8,185	24,381
△ 20	550	18	△ 710	△ 1,020	1,399

(単位：千円)

与		費		法 定 福 利 費	合 計
手 当 等		計			
307,289		622,872		124,787	747,659
306,160		624,460		125,237	749,697
1,129		△ 1,588	△	450	△ 2,038

(単位：千円)

特殊勤務 手 当	通勤手当	管 理 職 員 特別勤務手当	期末勤勉 手 当	児童手当	退職給付費
1,783	11,747	168	145,611	7,165	25,780
1,803	11,197	150	145,433	8,185	24,381
△ 20	550	18	178	△ 1,020	1,399

(単位：千円)

与		費		法 定 福 利 費	合 計
手 当 等		計			
2,456		9,864		1,812	11,676
3,344		13,066		2,341	15,407
△ 888		△ 3,202	△	529	△ 3,731

2. 給料及び手当等の増減額の明細

区 分	増減額 (千円)	増 減 事 由 別 内 訳 (千円)	
給 料	△ 2,717	給与改定に伴う増減分	
		昇給に伴う増加分	3,776
		その他の増減分	△ 6,493
手 当 等	241	制度改正等に伴う増減分	
		その他の増減分	241

説 明	備 考
職員の異動等による減	
地 域 手 当 △ 473千円 扶 養 手 当 △ 1,422千円 住 居 手 当 468千円 管 理 職 手 当 1,611千円 時 間 外 勤 務 手 当 △ 160千円 特 殊 勤 務 手 当 △ 20千円 通 勤 手 当 550千円 管 理 職 員 特 別 勤 務 手 当 18千円 期 末 勤 勉 手 当 △ 710千円 児 童 手 当 △ 1,020千円 退 職 給 付 費 1,399千円 (引当金繰入額)	(参考) 当年度期末勤勉手当支払額 148,067千円 (参考) 当年度退職手当支払額(引当金取崩) 9,041千円

3. 給料及び手当の状況

(1) 職員1人当たり給与

区 分		全 職 員
令和6年1月1日現在	平均給料月額（円）	316,408
	平均給与月額（円）	412,250
	平均年齢（歳）	40.04
令和5年1月1日現在	平均給料月額（円）	317,487
	平均給与月額（円）	413,788
	平均年齢（歳）	40.08

(2) 初任給

区 分		事 務 職（円）
令和6年1月1日現在	高 校 卒	165,800
	大 学 卒	190,600

一般会計の制度

区 分		一 般 行 政 職（円）
令和6年1月1日現在	高 校 卒	165,800
	大 学 卒	190,600

事務職	技術職	技能労務職
308,440	316,180	373,767
397,231	414,580	468,898
39.11	39.11	51.08
310,479	315,322	380,000
397,571	415,471	468,113
40.04	39.11	51.09

(再任用短時間勤務職員を除く。給与には時間外勤務手当及び特殊勤務手当を含まない。)

技術職 (円)	技能労務職 (円)
165,800	161,800
190,600	—

技能労務職 (円)
161,800
—

(3) 級別職員数

区 分	全 職 員			事 務	
	級	職員数 (人)	構成比 (%)	級	職員数 (人)
令和6年1月1日現在	7 級	0	0.0	7 級	0
	6 級	1	1.3	6 級	0
	5 級	7	8.9	5 級	1
	4 級	26	32.9	4 級	7
	3 級	28 (3)	35.4 (100.0)	3 級	7 (0)
	2 級	8	10.1	2 級	1
	1 級	9	11.4	1 級	4
	計	79 (3)	100.0 (100.0)	計	20 (0)
令和5年1月1日現在	8 級	0	0.0	8 級	0
	7 級	1	1.3	7 級	0
	6 級	6	7.8	6 級	0
	5 級	23	29.9	5 級	7
	4 級	6	7.8	4 級	1
	3 級	26 (2)	33.7 (100.0)	3 級	9 (0)
	2 級	8	10.4	2 級	0
	1 級	7	9.1	1 級	2
	計	77 (2)	100.0 (100.0)	計	19 (0)

()内は、再任用短時間勤務職員について外書き。

(級別の基準となる職務)

区 分	7 級	6 級	5 級	4 級
企 業 職	次 長	部 長	課 長	係 長 下 水 施 設 管 理 員

R5.4.1付給料表の切替に伴い、企業一般職給料表における級構成を8級制から7級制に変更。

職	技 術 職			技 能 勞 務 職		
	級	職員数 (人)	構成比 (%)	級	職員数 (人)	構成比 (%)
0.0	7 級	0	0.0			
0.0	6 級	1	1.8			
5.0	5 級	6	10.7			
35.0	4 級	16	28.6	4 級	3	100.0
35.0	3 級	21 (3)	37.5 (100.0)	3 級	0 (0)	0.0
5.0	2 級	7	12.5	2 級	0	0.0
20.0	1 級	5	8.9	1 級	0	0.0
100.0	計	56 (3)	100.0 (100.0)	計	3 (0)	100.0
0.0	8 級	0	0.0			
0.0	7 級	1	1.9			
0.0	6 級	6	11.1			
36.8	5 級	16	29.6			
5.3	4 級	1	1.9	4 級	4	100.0
47.4	3 級	17 (2)	31.4 (100.0)	3 級	0 (0)	0.0
0.0	2 級	8	14.8	2 級	0	0.0
10.5	1 級	5	9.3	1 級	0	0.0
100.0	計	54 (2)	100.0 (100.0)	計	4 (0)	100.0

3 級	2 級	1 級
主 査 下水施設 管理員	副 主 査 下水施設 管理員	主 事 技 師 下水施設 管理員

(4) 特殊勤務手当

区 分	全 職 種	事 務 職	技 術 職	技能労務職
給料総額に対する比率 (%)	0.40	0.03	0.44	1.77
支給対象職員の比率 (%) (令和6年1月1日現在)	58.5	15.0	71.2	100.0
支給対象職員1人当たり 平均支給月額 (円)	2,128	616	1,874	7,194
代表的な特殊勤務手当の 名 称	ポンプ場業務従事手当 特殊業務従事手当			

(5) 期末勤勉手当

区 分	支 給 期 別 支 給 率		支給率計 (月分)	職制上の段 階、職務の 級等による 加算措置	備 考
	6月 (月分)	12月 (月分)			
本 年 度	2.2 (1.15)	2.2 (1.15)	4.4 (2.3)	有	加算割合5%~20%
前 年 度	2.2 (1.15)	2.2 (1.15)	4.4 (2.3)	有	加算割合5%~20%
一般会計の制度	2.2 (1.15)	2.2 (1.15)	4.4 (2.3)	有	加算割合5%~20%

()内は、再任用職員の支給率。

(6) 定年退職及び定年前早期退職に係る退職手当

区 分	支 給 率 等	一 般 会 計 の 制 度 (支給率等)
20 年 勤 続 の 者 (月 分)	24.586875	24.586875
25 年 勤 続 の 者 (月 分)	33.27075	33.27075
35 年 勤 続 の 者 (月 分)	47.709	47.709
最 高 限 度 (月 分)	47.709	47.709
そ の 他 の 加 算 措 置 等	定年前早期退職 特例措置	定年前早期退職 特例措置
備 考	算定基礎（退職時の給料 月額）を3%～45%加算	算定基礎（退職時の給料 月額）を3%～45%加算

(7) その他の手当

区 分	一般会計の制度との異同	差 異 の 内 容
扶 養 手 当	同	—
地 域 手 当	同	—
住 居 手 当	同	—
通 勤 手 当	同	—

債 務 負 担 行 為

事 項	限 度 額	前年度末までの支払 義務発生（見込）額	
		期 間	金 額
(過年度提出分)			
兵庫東流域下水汚泥処理事業負担金	4,750,100	平成15年度から 令和5年度まで	3,309,400
兵庫東流域下水汚泥処理事業負担金	52,005	平成16年度から 令和5年度まで	22,413
兵庫東流域下水汚泥処理事業負担金	64,557	平成17年度から 令和5年度まで	30,169
兵庫東流域下水汚泥処理事業負担金	120,868	平成18年度から 令和5年度まで	44,823
兵庫東流域下水汚泥処理事業負担金	429,371	平成19年度から 令和5年度まで	147,542
兵庫東流域下水汚泥処理事業負担金	307,888	平成20年度から 令和5年度まで	94,524
兵庫東流域下水汚泥処理事業負担金	37,354	平成21年度から 令和5年度まで	12,140
兵庫東流域下水汚泥処理事業負担金	43,266	平成22年度から 令和5年度まで	9,792
兵庫東流域下水汚泥処理事業負担金	16,302	平成23年度から 令和5年度まで	5,283
兵庫東流域下水汚泥処理事業負担金	92,034	平成23年度から 令和5年度まで	16,414
兵庫東流域下水汚泥処理事業負担金	35,880	平成24年度から 令和5年度まで	11,261
兵庫東流域下水汚泥処理事業負担金	122,837	平成24年度から 令和5年度まで	36,678
兵庫東流域下水汚泥処理事業負担金	47,870	平成25年度から 令和5年度まで	5,992
兵庫東流域下水汚泥処理事業負担金	101,280	平成26年度から 令和5年度まで	12,070
兵庫東流域下水汚泥処理事業負担金	164,243	平成27年度から 令和5年度まで	19,599
兵庫東流域下水汚泥処理事業負担金	132,052	平成28年度から 令和5年度まで	11,621
兵庫東流域下水汚泥処理事業負担金	102,536	平成29年度から 令和5年度まで	8,004
兵庫東流域下水汚泥処理事業負担金	139,450	平成30年度から 令和5年度まで	7,116
兵庫東流域下水汚泥処理事業負担金	183,078	令和元年度から 令和5年度まで	2,311
兵庫東流域下水汚泥処理事業負担金	603,833	令和2年度から 令和5年度まで	2,477
兵庫東流域下水汚泥処理事業負担金	522,773	令和3年度から 令和5年度まで	2,923

に 関 す る 調 書

(単位：千円)

当該年度以降の支払義務発生予定額		左 の 財 源 内 訳		
期 間	金 額	国庫補助金	企業債	その他
令和6年度から 令和7年度まで	40,446	0	0	40,446
令和6年度から 令和16年度まで	15,306	0	0	15,306
令和6年度から 令和17年度まで	23,880	0	0	23,880
令和6年度から 令和18年度まで	41,207	0	0	41,207
令和6年度から 令和19年度まで	158,257	0	0	158,257
令和6年度から 令和20年度まで	119,339	0	0	119,339
令和6年度から 令和21年度まで	13,721	0	0	13,721
令和6年度から 令和21年度まで	14,803	0	0	14,803
令和6年度から 令和22年度まで	9,347	0	0	9,347
令和6年度から 令和22年度まで	29,421	0	0	29,421
令和6年度から 令和23年度まで	23,763	0	0	23,763
令和6年度から 令和24年度まで	81,043	0	0	81,043
令和6年度から 令和25年度まで	15,616	0	0	15,616
令和6年度から 令和26年度まで	38,092	0	0	38,092
令和6年度から 令和27年度まで	144,644	0	0	144,644
令和6年度から 令和28年度まで	120,431	0	0	120,431
令和6年度から 令和29年度まで	94,532	0	0	94,532
令和6年度から 令和30年度まで	132,334	0	0	132,334
令和6年度から 令和31年度まで	180,767	0	0	180,767
令和6年度から 令和32年度まで	601,356	0	0	601,356
令和6年度から 令和33年度まで	519,850	0	0	519,850

事 項	限 度 額	前年度末までの支払 義務発生（見込）額	
		期 間	金 額
兵庫東流域下水汚泥処理事業負担金	410,476	令和4年度から 令和5年度まで	641
兵庫東流域下水汚泥処理事業負担金	483,041	令和5年度	938
兵庫東流域下水汚泥処理事業負担金	1,496,317	—	—
西宮処理場・久寿川ポンプ場外包括的 運転維持管理業務	4,594,700	令和2年度から 令和5年度まで	3,517,092
枝川浄化センター再構築事業（基本協 定その1）	9,440,000	令和3年度から 令和5年度まで	1,183,520
久寿川ポンプ場機械設備改築工事	136,000	—	—
大浜ポンプ場機械設備改築工事	186,000	—	—
津門川ポンプ場機械設備（その1）改 築工事	30,000	—	—
津門川ポンプ場電気設備改築工事	27,000	—	—
津門川ポンプ場機械設備（その2）改 築工事	69,000	—	—
甲子園浜浄化センター機械設備改築工 事	160,000	—	—
甲子園浜浄化センター電気設備改築工 事	68,000	—	—
甲子園浜浄化センター受変電設備改築 工事	280,000	—	—
合流貯留管流入渠整備工事	264,000	—	—
下水道管渠改築工事	405,000	—	—
（今回提出分）			
久寿川ポンプ場機械設備改築工事	140,000	—	—
枝川ポンプ場機械設備改築工事	210,000	—	—
鳴尾浜浄化センター中央監視設備改築 工事	150,000	—	—
甲子園浜浄化センター機械設備改築工 事	200,000	—	—
甲子園浜浄化センター電気設備改築工 事	100,000	—	—
下水道管渠改築工事	300,000	—	—
雨水貯留施設整備工事	450,000	—	—
中央運動公園雨水貯留施設整備負担金	1,080,000	—	—
下水道施設包括委託検討調査業務	48,000	—	—
合流貯留管建設工事その6	7,390,000	—	—
西宮処理場・久寿川ポンプ場外包括的 運転維持管理業務	5,800,000	—	—

(単位：千円)

当該年度以降の支払義務発生予定額		左 の 財 源 内 訳		
期 間	金 額	国庫補助金	企業債	その他
令和6年度から 令和34年度まで	409,835	0	0	409,835
令和6年度から 令和34年度まで	482,103	0	0	482,103
令和6年度から 令和35年度まで	1,496,317	0	0	1,496,317
令和6年度	1,077,608	0	0	1,077,608
令和6年度から 令和10年度まで	8,256,480	4,545,433	3,711,047	0
令和6年度	136,000	68,000	68,000	0
令和6年度	186,000	93,000	93,000	0
令和6年度	30,000	15,000	15,000	0
令和6年度	27,000	13,500	13,500	0
令和6年度	69,000	34,500	34,500	0
令和6年度	160,000	88,000	72,000	0
令和6年度	68,000	37,400	30,600	0
令和6年度	280,000	154,000	126,000	0
令和6年度	264,000	132,000	132,000	0
令和6年度	405,000	118,000	287,000	0
令和7年度	140,000	70,000	70,000	0
令和7年度	210,000	105,000	105,000	0
令和7年度	150,000	82,500	67,500	0
令和7年度	200,000	110,000	90,000	0
令和7年度	100,000	55,000	45,000	0
令和7年度	300,000	87,500	212,500	0
令和7年度	450,000	0	450,000	0
令和7年度から 令和11年度まで	1,080,000	0	1,080,000	0
令和7年度	48,000	24,000	24,000	0
令和7年度から 令和11年度まで	7,390,000	3,695,000	3,695,000	0
令和7年度から 令和11年度まで	5,800,000	0	0	5,800,000

令和6年度西宮市下水道事業予定貸借対照表

(令和7年3月31日)

(単位：千円)

資 産 の 部

1. 固 定 資 産

(1) 有 形 固 定 資 産

イ 土 地		32,347,586	
ロ 建 物	6,343,115		
減価償却累計額	<u>△ 3,062,795</u>		3,280,320
ハ 構 築 物	197,734,603		
減価償却累計額	<u>△ 77,905,040</u>		119,829,563
ニ 機 械 及 び 装 置	43,249,146		
減価償却累計額	<u>△ 21,730,857</u>		21,518,289
ホ 車 両 運 搬 具	17,342		
減価償却累計額	<u>△ 14,377</u>		2,965
ヘ 工 具 器 具 及 び 備 品	44,297		
減価償却累計額	<u>△ 34,135</u>		10,162
ト 建 設 仮 勘 定			<u>2,157,720</u>
有形固定資産合計			179,146,605
(2) 無形固定資産			
イ 施 設 利 用 権		<u>3,685,600</u>	
無形固定資産合計			3,685,600
(3) 投資その他の資産			
イ 出 資 金		5,089	
ロ 長 期 貸 付 金		13,641	
ハ 基 金		368,787	
ニ 長 期 前 払 消 費 税		<u>1,352,236</u>	
投資その他の資産合計			<u>1,739,753</u>
固定資産合計			<u>184,571,958</u>

2. 流 動 資 産

(1) 現 金 預 金		5,736,890	
(2) 未 収 金	976,788		
貸倒引当金	<u>△ 8,826</u>		<u>967,962</u>
流動資産合計			<u>6,704,852</u>
資産合計			<u>191,276,810</u>

負 債 の 部

3. 固 定 負 債

(1) 企 業 債

イ 建 設 改 良 企 業 債	44,840,101		
ロ 資 本 費 平 準 化 債	<u>5,764,568</u>		
企業債合計			50,604,669

(2) 引当金			
イ 退職給付引当金	195,925		
引当金合計		195,925	
固定負債合計			50,800,594
4. 流動負債			
(1) 企業債			
イ 建設改良企業債	2,721,111		
ロ 資本費平準化債	571,316		
企業債合計		3,292,427	
(2) 未払金		3,819,247	
(3) 前受金		3,523	
(4) 引当金			
イ 賞与引当金	59,159		
引当金合計		59,159	
(5) その他流動負債		1,042	
流動負債合計			7,175,398
5. 繰延収益			
(1) 長期前受金	111,432,694		
長期前受金収益化累計額	△ 44,089,420	67,343,274	
繰延収益合計			67,343,274
負債合計			125,319,266

資 本 の 部

6. 資本金			
(1) 自己資本金		41,901,716	
資本金合計			41,901,716
7. 剰余金			
(1) 資本剰余金			
イ 受贈財産評価額	8,411,650		
ロ 国庫補助金	11,744,065		
ハ 他会計補助金	2,091,772		
ニ その他資本剰余金	6,271		
資本剰余金合計		22,253,758	
(2) 利益剰余金			
イ 当年度未処分利益剰余金	1,802,070		
利益剰余金合計		1,802,070	
剰余金合計			24,055,828
資本合計			65,957,544
負債資本合計			191,276,810

令和6年度西宮市下水道事業会計予算注記

I. 重要な会計方針

1 有価証券、出資金及び基金の評価基準及び評価方法

満期保有目的債券 償却原価法（定額法）

2 固定資産の減価償却の方法

(1) 有形固定資産（リース資産を除く）

定額法

主な耐用年数

建物 8～50年

構築物 30～50年

機械及び装置 6～30年

車両運搬具 3～5年

工具器具及び備品 5～20年

(2) 無形固定資産

定額法。

3 引当金の計上方法

(1) 退職給付引当金

職員の退職手当の支給に備えるため、当事業年度末における退職手当の要支給額に相当する金額を計上している（一般会計が負担すると見込まれる額 175,145千円を除く）。なお、会計間異動のある職員については、在籍期間で退職手当を按分し、下水道事業が負担すると見込まれる額を計上している。

(2) 賞与引当金

職員の期末勤勉手当の支給に備えるため、当事業年度末における支給見込額に基づき、当事業年度の負担に属する額を計上している。

(3) 貸倒引当金

債権の不納欠損による損失に備えるため、実績率等による回収不能見込額を計上している。

4 その他会計に関する書類のための基本となる重要な事項

(1) 消費税等の会計処理

消費税及び地方消費税の会計処理は、税抜方式によっている。なお、固定資産に係る控除対象外消費税については、長期前払消費税に計上し、20年間で均等償却を行っている。ただし、令和4年度以降に計上する固定資産に係る控除対象外消費税については、長期前受金と減額相殺している。

Ⅱ. 予定貸借対照表関連

1 企業債の償還に係る他会計の負担

貸借対照表に計上されている企業債（1年以内に償還予定のものも含む）のうち、一般会計が負担すると見込まれる額は 30,892,624 千円である。

2 引当金の取崩し

(1) 退職給付引当金の取崩し

令和6年度において、当年度末退職者に対する退職手当として 30,684 千円を支給し、他会計負担分として 16,569 千円を収受することとなり、他会計で退職した職員の下水道事業会計が負担する分も含め、退職給付引当金 9,041 千円を取り崩した。

(2) 賞与引当金の取崩し

令和6年度において、期末勤勉手当として 148,067 千円を支給することとなったため、賞与引当金 56,092 千円を取り崩した。

(3) 貸倒引当金の取崩し

令和6年度において、下水道使用料等を不納欠損するために、貸倒引当金 2,499 千円を取り崩した。

令和5年度西宮市下水道事業予定損益計算書

(令和5年4月1日から令和6年3月31日まで)

(単位：千円)

1. 営業収益

(1) 下水道使用料	5,251,421		
(2) 雨水処理負担金	2,478,954		
(3) 他会計負担金	337,905		
(4) その他の営業収益	<u>34,551</u>	8,102,831	

2. 営業費用

(1) 管渠費	237,929		
(2) ポンプ場費	515,369		
(3) 処理場費	1,987,864		
(4) 流域下水道維持管理負担金	555,247		
(5) 業務費	263,786		
(6) 総係費	282,247		
(7) 減価償却費	6,743,160		
(8) 資産減耗費	<u>117,290</u>	<u>10,702,892</u>	

営業損失 2,600,061

3. 営業外収益

(1) 受取利息	3		
(2) 国庫補助金	1,000		
(3) 他会計補助金	519,566		
(4) 長期前受金戻入	2,930,207		
(5) 雑収益	<u>33,634</u>	3,484,410	

4. 営業外費用

(1) 支払利息及び 企業債取扱諸費	637,995		
(2) 長期前払消費税額 償却	<u>96,995</u>	<u>734,990</u>	<u>2,749,420</u>

経常利益 149,359

5. 特別利益			
(1) 過年度損益修正益	<u>500</u>	500	
6. 特別損失			
(1) 過年度損益修正損	<u>1,818</u>	<u>1,818</u>	<u>△ 1,318</u>
当年度純利益			148,041
前年度繰越利益剰余金			1,638,674
その他未処分 利益剰余金変動額			<u>347,303</u>
当年度未処分 利益剰余金			<u><u>2,134,018</u></u>

令和5年度西宮市下水道事業予定貸借対照表

(令和6年3月31日)

(単位：千円)

資 産 の 部			
1. 固 定 資 産			
(1) 有 形 固 定 資 産			
イ 土 地			32,347,586
ロ 建 物	6,343,395		
減価償却累計額	<u>△ 2,888,851</u>		3,454,544
ハ 構 築 物	187,629,512		
減価償却累計額	<u>△ 73,368,272</u>		114,261,240
ニ 機 械 及 び 装 置	43,385,234		
減価償却累計額	<u>△ 19,908,409</u>		23,476,825
ホ 車 両 運 搬 具	17,342		
減価償却累計額	<u>△ 13,482</u>		3,860
ヘ 工 具 器 具 及 び 備 品	41,314		
減価償却累計額	<u>△ 31,831</u>		9,483
ト 建 設 仮 勘 定			<u>5,997,720</u>
有形固定資産合計			179,551,258
(2) 無 形 固 定 資 産			
イ 施 設 利 用 権			<u>3,712,560</u>
無形固定資産合計			3,712,560
(3) 投 資 そ の 他 の 資 産			
イ 出 資 金			5,089
ロ 長 期 貸 付 金			8,868
ハ 基 金			368,787
ニ 長 期 前 払 消 費 税			<u>1,449,231</u>
投資その他の資産合計			<u>1,831,975</u>
固定資産合計			<u>185,095,793</u>
2. 流 動 資 産			
(1) 現 金 預 金			5,229,818
(2) 未 収 金	987,760		
貸倒引当金	<u>△ 8,101</u>		<u>979,659</u>
流動資産合計			<u>6,209,477</u>
資産合計			<u>191,305,270</u>

負 債 の 部

3. 固 定 負 債			
(1) 企 業 債			
イ 建 設 改 良 企 業 債	43,871,867		
ロ 資 本 費 平 準 化 債	<u>6,332,531</u>		
企業債合計			50,204,398

(2) 引 当 金			
イ 退職給付引当金	186,492		
引 当 金 合 計		186,492	
固 定 負 債 合 計			50,390,890
4. 流 動 負 債			
(1) 企 業 債			
イ 建設改良企業債	3,329,992		
ロ 資本費平準化債	567,933		
企 業 債 合 計		3,897,925	
(2) 未 払 金		3,839,245	
(3) 前 受 金		3,523	
(4) 引 当 金			
イ 賞与引当金	56,092		
引 当 金 合 計		56,092	
(5) その他流動負債		6,042	
流 動 負 債 合 計			7,802,827
5. 繰 延 収 益			
(1) 長 期 前 受 金	108,377,402		
長期前受金収益化累計額	△ 41,208,038	67,169,364	
繰 延 収 益 合 計			67,169,364
負 債 合 計			125,363,081

資 本 の 部

6. 資 本 金			
(1) 自 己 資 本 金		41,554,413	
資 本 金 合 計			41,554,413
7. 剰 余 金			
(1) 資 本 剰 余 金			
イ 受贈財産評価額	8,411,650		
ロ 国庫補助金	11,744,065		
ハ 他会計補助金	2,091,772		
ニ その他資本剰余金	6,271		
資 本 剰 余 金 合 計		22,253,758	
(2) 利 益 剰 余 金			
イ 当年度未処分			
利益剰余金	2,134,018		
利 益 剰 余 金 合 計		2,134,018	
剰 余 金 合 計			24,387,776
資 本 合 計			65,942,189
負 債 資 本 合 計			191,305,270

令和5年度西宮市下水道事業会計予算注記

I. 重要な会計方針

1 有価証券、出資金及び基金の評価基準及び評価方法

満期保有目的債券 償却原価法（定額法）

2 固定資産の減価償却の方法

(1) 有形固定資産（リース資産を除く）

定額法

主な耐用年数

建物	8～50年
構築物	30～50年
機械及び装置	6～30年
車両運搬具	3～5年
工具器具及び備品	5～20年

(2) 無形固定資産

定額法。なお、自己利用のソフトウェアについては、利用可能期間（5年）に基づいている。

3 引当金の計上方法

(1) 退職給付引当金

職員の退職手当の支給に備えるため、当事業年度末における退職手当の要支給額に相当する金額を計上している（一般会計が負担すると見込まれる額 166,712千円を除く）。なお、会計間異動のある職員については、在籍期間で退職手当を按分し、下水道事業が負担すると見込まれる額を計上している。

(2) 賞与引当金

職員の期末勤勉手当の支給に備えるため、当事業年度末における支給見込額に基づき、当事業年度の負担に属する額を計上している。

(3) 貸倒引当金

債権の不納欠損による損失に備えるため、実績率等による回収不能見込額を計上している。

4 その他会計に関する書類のための基本となる重要な事項

(1) 消費税等の会計処理

消費税及び地方消費税の会計処理は、税抜方式によっている。なお、固定資産に係る控除対象外消費税については、長期前払消費税に計上し、20年間で均等償却を行っている。ただし、令和4年度以降に計上する固定資産に係る控除対象外消費税については、長期前受金と減額相殺している。

II. 予定貸借対照表関連

1 企業債の償還に係る他会計の負担

貸借対照表に計上されている企業債（1年以内に償還予定のものも含む）のうち、一般会計が負担すると見込まれる額は 29,828,667 千円である。

2 引当金の取崩し

(1) 賞与引当金の取崩し

令和5年度において、期末勤勉手当として 143,630 千円を支給することとなったため、賞与引当金 52,327 千円を取り崩した。

(2) 貸倒引当金の取崩し

令和5年度において、下水道使用料等を不納欠損するために、貸倒引当金 3,242 千円を取り崩した。

(3) 修繕引当金の取崩し

令和5年度において、修繕費として 179,066 千円を執行することとなったため、修繕引当金 44,878 千円を取り崩した。

III. その他

新会計基準移行に係る経過措置

1 修繕引当金に関する経過措置

平成26年3月31日以前引き当てられたものについては、引き続き従前の例により取り崩すこととする。